

平成 29 年度 松本市小中学校 環境教育支援事業 報告書



田川小学校 「リバーアドベンチャー」 「水の生物の観察会」



美しく生きる。
健康寿命延伸都市・松本



松本市小中学校環境教育支援事業について

1 この事業について

学校内における環境教育の推進を図るために、専門性を有する企業・団体・個人が講師として実施できる環境教育プログラムを紹介し、環境学習の授業に活用していただくことで、学校内における環境教育の一層の推進を図るものです。

松本市教育委員会（教育政策課、学校教育課、学校指導課、生涯学習課）、松本市（環境政策課）、民間（中信地区環境教育ネットワーク）の3者による協働事業として、平成22年度から実施しています。

2 経過

- (1) 平成29年4月10日 松本市小中学校校長会へ案件提出
- (2) 平成29年4月14日 松本市小中学校教頭会へ内容説明
各校に事業メニューの提示と希望調査
- (3) 平成29年5月11日までに13校から実施希望、問合せあり
- (4) 平成29年5月以降、順次事業実施
- (5) 平成29年8月 事業に係る費用を中信地区環境教育ネットワークが負担する「おためしプログラム」について、校長会へ周知、事業を実施。5校12プログラムの申込みあり。

3 実施状況（平成30年2月13日現在）

- (1) 実施校 18校（小学校14校 中学校3校 その他1）
- (2) 実施人数 1,856名（小学生1,708名 中学生83名 その他65名）
- (3) 実施事業 36事業（18メニュー）
- (4) 実施団体 18団体（15団体 3企業）

4 報告書構成

- (1) 松本市小中学校環境教育支援事業 報告書 1～73頁
- (2) 松本市小中学校環境教育支援事業 講師コメント 74～75頁
- (3) 松本市小中学校環境教育支援事業 学習プログラム 76～102頁
- (4) 信州の環境学習サポートサイト 紹介 103頁
- (5) 【附録】松本市環境政策課からのお知らせ 104～105頁

平成29年度 小中学校環境教育支援事業 報告書一覧

番号	学校名	講座番号、講座名	講師	実施学年、クラス	人数	実施日	頁番号
1	島内小	2 自然体験(ネイチャーゲーム) 【おためしプログラム】	NPO法人わおん	2年2組	28	11月9日	1~2
2	田川小	3 犀川下り	合同会社リトルピークス	3年1組 2組	50	9月19日	3~4
3	安曇小	3 黒川・梓川リバーアドベンチャー	合同会社リトルピークス	6年	6	7月21日	5~6
4	二子小	4 めかくご飯炊き体験	NPO安曇野ふるさとづくり応援団	3年1組 2組	54	10月31日	7~8
5	会田中	4 めかくご飯炊き体験(四賀の食材を使って)	NPO安曇野ふるさとづくり応援団	1年	20	10月25日	9~10
6	菅野小	5 自然体験	いきものみつけファームin松本推進協議会	3年	130	7月7日	11~12
7	田川小	7 水の生物の観察会	川の自然と文化研究所(NPO)	3年1組 2組	50	6月7日	13~14
8	安曇小	8 水ってなあに?	㈱環境技術センター	6年	6	12月20日	15~16
9	鎌田小	9 竹筒と蜜蝋を使ったキャンドル作り 【おためしプログラム】	松本市地球温暖化防止市民ネットワーク(エコネットまつもと)	5年3組	31	12月7日	17~18
10	中間教室 (鎌田)	10 マイ箸づくり	寿飽の会	中学1、2、3 年	8	11月7日	19~20
11	附属松本小	10 11 マイ箸づくりと袋縫い	寿飽の会 松本市社協ボランティアセンター	5年東組	36	10月25日	21~22
12	清水小	12 あかりのエコ教室 【おためしプログラム】	パナソニック株式会社 エコソリューションズ社 松本電材営業所	4年2組	30	12月13日	23~24
13	鎌田小	12 あかりのエコ教室 【おためしプログラム】	パナソニック株式会社 エコソリューションズ社 松本電材営業所	5年3組	31	12月15日	25~26
14	今井小	14 木の授業とバウムクーヘン作り	寿さと山くらぶ	特別支援学 級	9	11月6日	27~28
15	二子小	14 木の授業とバウムクーヘン作り	寿さと山くらぶ	特別支援学 級	10	11月16日	29~30
16	四賀小	14 木の授業とバウムクーヘン作り 「学有林学習(木の生長について)」	寿さと山くらぶ	3年	18	1月22日	31~32
17	二子小	14 木の授業とバウムクーヘン作り	寿さと山くらぶ	4年1組 2組	42	11月1日	33~34
18	鎌田小	14 木の授業とバウムクーヘン作り	寿さと山くらぶ	5年	156	11月27日 11月28日	35~36
19	会田中	14 四賀の産業とバウムクーヘン作り	寿さと山くらぶ	2年	23	11月9日	37~38

番号	学校名	講座番号、講座名	講師	実施学年、クラス	人数	実施日	頁番号
20	島内小	15 木材の活用法 【おためしプログラム】	松本林業士会	5年2組	32	11月8日	39～40
21	今井小	16 緑のカーテン設置指導	松本市緑化協会	1年1組 2年1組	58	5月25日	41～42
22	田川小	16 緑のカーテン設置指導	松本市緑化協会	1年	41	5月23日	43～44
23	菅野小	16 緑のカーテン設置指導 「あさがおさん おおきくなあれ」	松本市緑化協会	1年3クラス	105	5月26日	45～46
24	島内小	16 緑のカーテン設置指導	松本市緑化協会	1年 2年	233	5月22日	47～48
25	本郷小	16 緑のカーテン設置指導 「緑のカーテン作り」	松本市緑化協会	1、2年4クラス	110	5月25日	49～50
26	鎌田小	16 緑のカーテン設置指導	松本市緑化協会	特別支援3クラス 4年1クラス	60	5月22日	51～52
27	中山小	16 緑のカーテン設置指導 「グリーンカーテンを育てよう」	松本市緑化協会	2年1組	22	5月25日	53～54
28	源池小	16 緑のカーテン設置指導	松本市緑化協会	4年2クラス	54	5月26日	55～56
29	芳川小	16 緑のカーテン設置指導 『「緑のカーテン」を作ろう』	松本市緑化協会	4年	128	11月28日	57～58
30	鎌田中	16 緑のカーテン設置指導	松本市緑化協会	造園委員会	32	6月1日	59～60
31	今井小	17 身近な自然観察	自然観察の会 ひこばえ	1年・2年	58	10月4日	61～62
32	田川小	18 体験プログラムを中心とした自然体験学習1 「野外体験」 【おためしプログラム】	体験創庫かけはし	知障学級	6	11月17日	63～64
33	島内小	19 体感プログラムを中心とした自然体験学習2 「野外体験 学校の自然を生かそう」 【おためしプログラム】	信州やがたい体験楽校ぶらす	4年3組	36	11月14日	65～66
34	清水小	20 地球温暖化防止と 木質バイオマスエネルギー利用方法 「バイオマスで炊き出し体験」 【おためしプログラム】	自然エネルギーネットまつもと	4年1組	30	11月17日	67～68
35	田川小	23 水の生物の観察会 「川の生き物探し」	松本ホテル学会	2年1組 2組	48	6月7日	69～70
36	教育課程	2 17 教職員対象・生活科お役立ち演習 19	NPO法人わおん 自然観察の会 ひこばえ 信州やがたいけん楽校ぶらす	松塩地区 教諭	65	10月3日	71～73
計	18校 (小学校14校 中学校3校 その他1)	18種類	18団体 (15団体3企業)	1,856人 (小学校1,708人、中学校83人、その他65人)			

※内「おためしプログラム」については、8つの事業が実施されました。

授 業 名	自然体験（ネイチャーゲーム）
実施学校名	松本市立島内小学校
実施学年、学級 参加人数	2年2組28名
担当者	担任 滝口 雅彦
実施日（期間）	平成29年11月9日（木）
講師名	NPO法人 わおん
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人 わおんの山田さんご夫妻の指導で自然に親しむネイチャーゲームを行った。 ・「自然の物探し」 北庭で講師が拾ってきた11種類のもの（どんぐりや葉を目で見確認し、グループごと探しに行くゲーム。 ・「つるつるざらざらの葉っぱ探し」 自分が一番つるつるだと思う葉っぱと一番ざらざらだと思う葉っぱを探し出し、グループの中でチャンピオンを決めた。 ・「ルーペで自然探し」 取ってきた葉っぱや、自分が見てみたいものを見つけ、ルーペで拡大した様子を見た。 ・「そっくりな色探し」 8種類の色カードを持って、その色とそっくりの葉っぱや枝を探した。 ・「万華鏡作り」 万華鏡の筒の中にちぎった葉っぱや草を入れてオリジナル万華鏡作りを行った。
実施状況 (授業風景)	 <p>ざらざらの葉っぱはどこかな？ 葉っぱに毛が生えている！</p>

実施状況
(授業風景)



万華鏡がすごくきれい。 葉っぱがきれいな模様になった。

記入者

2年2組 担任 滝口 雅彦

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・ 7個ぐらいまでは覚えていてどんどん見つけられたけど、10個探すのはむずかしかった。11個見つけることが出来たグループはすごい！
- ・ ルーペで、葉っぱを見たら毛みたいのがついてた。だから、ザラザラしているんだって分かった。
- ・ 赤やオレンジの色でも、そっくりな色を探すのはとっても難しかった。同じ色を探し出せたらとってもうれしかった。
- ・ 万華鏡の筒の中にちぎった葉っぱや草を入れてオリジナル万華鏡が出来たとき、すごくきれいでびっくりした。100円ショップにあるって聞いたから、今日お母さんに買ってもらいたい。
- ・ 北庭はいっぱい遊んだことがあったけど、こんなにたくさん自然のものがあるなんてびっくりした。

2 先生方の感想、要望等

いつも遊んでいる北庭でしたが、自然に関するものがたくさんあるのだということに気がついて、改めて北庭のよさを感じることが出来ました。

グループで同じ目標をもって自然探しをしたことで、いつも話しをしない友だちとも仲良く相談しながら活動している姿が見られ、とってもよかったです。

マイルーペを使って自分が見てみたい葉っぱや、木の幹を観察したことでいつも見えていない小さな自然を見ることができ、子どもたちはとても感動していました。2時間がとても短く感じました。

<p>授 業 名</p>	<p>犀川下り</p>
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立田川小学校</p>
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>3年1組25人 2組25人 計50人</p>
<p>担当者</p>	<p>渡邊 貴之 稲田 祐美</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成29年9月19日（火）</p>
<p>講師名</p>	<p>合同会社リトルピークス</p>
<p>実施概要</p>	<p>ラーラ松本を基点に白鳥湖までの約8キロを、ラフティングボートを使って下りながら、安曇野の山岳美、川辺の植生観察、川遊びの安全講習を行い、「大自然と一体となる」「仲間と力を合わせてボートを操る」楽しさを味わった。午前午後に分かれて、クラス別各3時間の活動を行った。</p>
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<p>①船出 安全講習は受けたけど、ドキドキするな。うまくパドルがこげるかな。</p>  <p>②なんてきれいな景色。澄んだ水。輝くアルプス。木陰を通るときは、頭を下げ通る。 人工物の見えない自然だけの景</p>  <p>③パドルの使い方や川に落ちたときの姿勢、落ちた友だちの助け方など安全講習も心に残りました。</p>  

<p style="text-align: center;">授業について</p>	<p>記入者</p>	<p>稲田 祐美</p>
	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いっしょうけんめいパドルを動かしました。ボートが進んでよかった。・水かけ合せん、最高。楽しい。・先生が起き上がれないほど、川からボートに上がるのは難しい。・行く時はとてもこわかったけど、すぐにこわくなくなった。けっきょく心配しすぎだった。・さいしょはドキドキしてたけど楽しかったのうれしかった。・チームが決まってなくて心配だったけど、力を合わせてこいだ。最高のチームでした。・虫はみつからなかったけど、楽しい思い出になった。・川は命の集まる場所。 ・命あふれて、みんなを楽しくさせる場所。・川遊びまでただの川だと思っていました。でも、さい川下りでこんなに川で楽しんだのは初めてでした。これから川をよごす人がいないように、川を人間みたいに大切にしたいと思います。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めったにできない経験をさせていただき、感謝します。昨年から2年がかりの計画を、事故なく実施できて良かった。1年生からの3年間の川の学習のまとめとして、子どもたちの心にも強く残るものがあつた。コースは最高で、普段水泳学習が苦手な子やおとなしい子がとても楽しんで、自分の新しい一面を発見していた。 ・保護者の理解を得るために、参観日の懇談会を利用して早くから了解を取って進めた。事前アンケートを取った。当日は川沿いに見に来てくださる方もあつた。 ・観光のトップシーズンをはずしたので、連携を取りやすかつた。気温や学校行事の関係も、9月で良かった。 ・余裕をもった日程で良かった。予定より早く移動でき、子どもの負担が少なく、活動を終了できた。 <p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リトルピークスとアルピコタクシーと一緒に事前の計画を練っていただいたので、無理のない活動計画ができました。感謝します。 ・アクアピア駐車場には事前に申請書が必要だった。 ・平瀬緑地公園やクリーンセンターには、環境政策課から話をしていただいていたので、スムーズに申請が受理された。 	

<p>授 業 名</p>	<p>黒川・梓川リバーアドベンチャー</p>
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立安曇小学校</p>
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>6 学年 6 名</p>
<p>担当者</p>	<p>担任 吉嶋 哲男</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成29年7月21日(金)</p>
<p>講師名</p>	<p>合同会社リトルピークス（代表・小峰邦良さん）</p>
<p>実施概要</p>	<p>① 講義『大河の一滴』（パワーポイントを用いて、内容は梓川6.5Kmの旅）を教室で聞き、川の働きや水の流れについて学習した。 ② 黒川にて、シャワークライミングや岩登り、滝つぼ潜り等をして川遊びを楽しんだ。 ③ 梓川まで出た後、川で溺れた時の対応や川に溺れた人への救助法等を体験学習した。 ④ 梓川での川流れ体験、島々谷川遡上体験等を行って帰校した。</p>
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: flex-start;"> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 20px;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>講義を聞いた後、ウエットスーツやライフジャケット等の川遊びギアを身につけて、雑炊橋向こうの、学校から歩いて5分の黒川に向かいました。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>川への入り方や安全な遊び方を教えていただき、みんなで川へ飛び込みました。川の水がとても冷たく、大変気持ちよかったです。どの遊びも、子どもたちは大喜びでした。ずっと川につかっている子もいました。</p> </div> </div> </div>

実施状況
(授業風景)



岩登りや岩渡り、シャワークライミング等をして遊びました。学校のすぐ近くの川ですが、子どもたちは入ったことも遊んだこともなく、全て初めての体験で、とても楽しかったです。



梓川の支流となる黒川その他、梓川、黒川の反対の山から流れてくる島々谷川等の水を体験することで、水の色や冷たさ、流れの速さ等について身をもって体験することができました。

記入者

吉嶋 哲男

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・黒川は、奥に行くと、滝がありました。その滝にあたってからもっと下に行って、梓川にたどり着きました。梓川をみんなで歩きました。急に深くなって足がつかせませんでした。だから泳ぎました。近くを魚が泳いでいて、びっくりしました。
- ・ぼくはアウトドアが好きなので、楽しみにしていました。寒いのかと思ったけれど、ウエットスーツのおかげで暖かく、助かりました。黒川は、プールみたいなのところがあって楽しかったです。救助では、そんなに強い力いらないと思ってロープを投げたら、全然だめでした。またやってみたいです。

2 先生方の感想、要望等

- ・学校のすぐ近く、歩いて数分のところを川が流れていながら、子どもたちも私も一度も川に入ったことがなく、そこで楽しく遊べるという考えもありませんでした。逆に、川は危険だから近づかない遊ばないという指導をしてきたことが多かったかと思えます。そんな川についての意識が完全に覆され、とっても楽しく遊び学習することができました。梓川のみならず、黒川や島々谷川でも遊ぶことができ、身近な自然の良さを、改めて実感することができました。
- ・可能であれば、継続して行い、小学校で学習する中でどこかの学年で全員が、川遊びを体験できると素晴らしいと思う。

授 業 名	ぬかくどご飯炊き体験
実施学校名	松本市立二子小学校
実施学年、学級 参加人数	3年1組 27名 3年2組 27名
担当者	3年1組担任 祝迫 なおみ 3年2組担任 中山 靖隆
実施日（期間）	平成29年10月31日（火）
講師名	安曇野ふるさとづくり応援団代表 等々力さん 宮崎さん
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・お米作りのお話を聞き農家の方の工夫や大変さがわかりました。 ・ぬかを使ってごはんを炊く様子を間近で見て、ごはんが炊けていく様子や、電気を使わなくてもごはんが炊けることがわかりました。 ・炊き上がったごはんで一人ひとりおにぎりを作り、ぬかくどで炊いた無農薬のお米のおいしさを味わいました。
実施状況 (授業風景)	<p>①無農薬のお米作りのお話を聞きました。</p>  <p>②ぬか（もみがら）を入れてご飯を炊く様子を間近で見ました。</p> 

実施状況
(授業風景)

③炊き上がったごはんで一人ひとりおにぎりを作りました。



記入者

祝迫なおみ

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・電気を使わなくてもごはんが炊けたのでおどろいた。
- ・「ぬかくど」という言葉を初めて聞いた。
- ・ごはんが炊けると、とてもよいにおいがした。
- ・おにぎり作りが楽しかったし、とてもおいしかった。

2 先生方の感想、要望等

- ・もみがらでごはんを炊くという、先人の知恵に感心しました。それを実際に見ることができ、子どもたちにとって大変貴重な経験になりました。社会科の学習にも活かしていきたいと考えています。
- ・講師の先生方が温かくていねいに説明してくださり、ありがたかったです。

<p>授 業 名</p>	<p>ぬかくどご飯炊き体験（四賀の食材を使って）</p>
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立会田中学校</p>
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>1 学年 （20名）</p>
<p>担当者</p>	<p>齋藤 浩明、山本 佳代子、竹内 大 （1 学年職員）</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成29年10月25日（水）</p>
<p>講師名</p>	<p>宮崎 崇徳、等々力 秀和（安曇野ふるさとづくり応援団） 藤森 賢（藤森組）</p>
<p>実施概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ぬかくどを用いたごはん作り ・灰焼きおやき作り
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div data-bbox="493 947 971 1305">  </div> <p data-bbox="991 969 1437 1178">①おやきの具材を詰めました。おやきに用いた小麦やしいたけ、なすなどの具材はすべて四賀産の地元で採れたものです。</p> <div data-bbox="493 1417 943 1626"> <p data-bbox="528 1417 943 1626">②作ったおやきを灰の中に入れました。熱かったのでおそるおそる入れました。できあがりを楽しみに待ちました。</p> </div> <div data-bbox="979 1335 1457 1693">  </div> <div data-bbox="493 1711 971 2069">  </div> <p data-bbox="1015 1760 1394 1843">③こんがり、おいしく焼き上がりました。</p>

実施状況
(授業風景)

④おやきと同時並行で、ぬかくどを用いてご飯を炊きました。燃料のもみながらも四賀産のもので、環境にも優しいことを学習しました。



⑤おやきとぬかくどが出来上がるまでの間、升や石など昔の単位について学習しました。

⑥できあがったお米をおにぎりにしました。味付けは塩のみでしたが、おこげがあったりととても香ばしく、何個も食べる様子が見られました。ごちそうさま！！



記入者 竹内 大

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

・非常に意欲的に取り組んでいました。昔の人の知恵に感心する様子が見られました。

2 先生方の感想、要望等

・材料や燃料などすべて四賀産のものを使用しており、四賀の魅力について見つめ返すいい機会になったと思います。また、生徒は、地元について関心を持ち、愛着を抱くことができたと思います。

<p>授 業 名</p>	<p>自然体験</p>	
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立菅野小学校</p>	
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>3 学年 4 学級 参加人数 130名</p>	
<p>担当者</p>	<p>宮城 和広</p>	
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成29年7月7日（金）</p>	
<p>講師名</p>	<p>いきものみつけファーム in 松本推進協議会</p>	
<p>実施概要</p>	<p>理科「こん虫のからだを調べよう」及び総合的な学習の時間の一環として実施。 スカイパークにて4人の講師より下記のテーマで生き物探しと観察を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「ネイチャーゲーム」（公園の中にある生き物や植物探し） ②「草むらの生き物」（滑走路わきの草むらでの昆虫探し） 	
<p>実施状況 (授業風景)</p>	 	<p>「ネイチャーゲーム」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園内の自然のものを材料にして、紙の上に絵を作りました。 <p>「木の枝を使うと、いろいろなものがあらわせていいね。」 「もっと葉を集めよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビンゴカードに書かれている動物や植物を公園の中で探しました。 <p>「花や松葉、松ぼっくりを見つけたよ。」 「林の中にはいろんなものがあるな。」</p>

実施状況
(授業風景)



「草むらの生き物」

- ・滑走路わきの草むらで昆虫を探して捕まえました。

「網に入ったぞ。」

「草と同じ色で見つけにくいな。」

「生き物の観察」

- ・捕まえた昆虫を観察し合い、名前や体の特徴を知りました。

「しょうりょうバッタというんだね。」

「きれいな色だなあ。」

記入者

宮城 和広

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

・昆虫探しでは、網の使い方を初めにご指導いただき、草むらの中から見つけ出した昆虫を夢中で追いかけて捕まえる姿が多く見られた。

・昆虫観察の時間では、捕まえた昆虫をみんなで見合い、指導者の先生が教えてくださる種類の名前や、体の特徴を熱心に聞くことができた。

・子ども達の捕まえた昆虫を一つひとつ丁寧に学習の中で取り上げてくださり、子ども達はとても嬉しそうだった。

・「ネイチャーゲーム」では、ビンゴカードを使って公園の中で見つけられる生き物や植物を探して楽しむことができた。

・絵作りでは、グループみんなで材料に使う自然のものを集め、相談し合ったり試行錯誤したりしながら行えたことが、楽しさを共有し合うことにつながっていて良かった。

2 先生方の感想、要望等

・子どもたちが時間いっぱい昆虫を探したり、じっくり観察したりする姿が多く見られ、進んで学習することができて良かった。

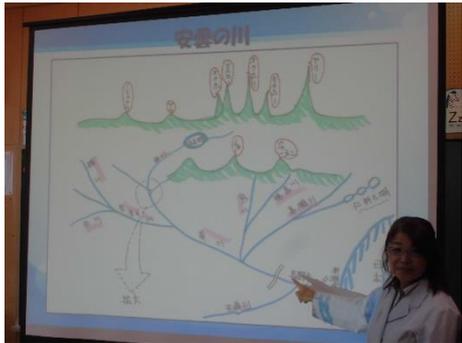
・道具や展開の段取りが十分なされていたことも子ども達の意欲的な活動に結びついていたと感じる。

・専門の先生にご指導をいただき、体験的な学びをつくることができて大変ありがたかった。

・学校から近く、自然にも十分触れあえるスカイパークがあるので、今後もこの事業を活用していきたい。

授 業 名	水の生物の観察会
実施学校名	松本市立田川小学校
実施学年、学級 参加人数	3年1組25人 2組25人 計50人
担当者	渡邊 貴之 稲田 祐美
実施日（期間）	平成29年6月7日（水）
講師名	川の自然と文化研究所（NPO）・松本ホタル学会
実施概要	<p>①1組は奈良井川脇の湧水（松島橋北側付近）に行って2年生と共に水中生物を探す。②松本ホタル学会の方と一緒に調べる。</p> <p>③2組は田川入船橋付近で水中生物を探す。</p> <p>④学校に戻り、それぞれの川で捕まえた水中生物を発表、比較し、ルーペ等で観察する。</p> <p>⑤水中生物の記録の書き方を講師から習い、絵と文で記録する。</p>
実施状況 (授業風景)	<p>《奈良井川脇湧水に行った1組》</p>  <p>①去年と同じ場所、奈良井川脇湧水で2年生に「ほら、こんなふうにとってごらん。これがトビケラだよ。」</p> <p>②「これなあに」今年初めてお世話になる、松本ホタル学会（まなぶかい）の方に、積極的に質問。</p>  <p>《田川入船橋付近に行った2組》</p> <p>③田川には魚がいっぱい。興奮して水着で探す子ども達。市役所の環境課の方も来て、名前を教えてくださいました。</p> 

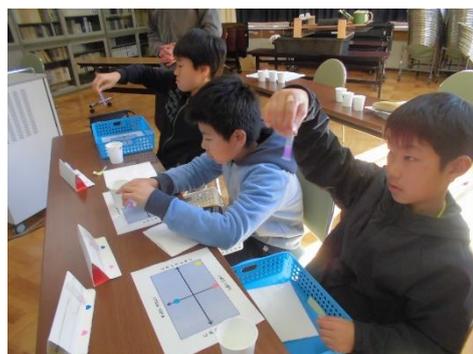
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<p>④発表会。水温 14℃ 奈良井川脇湧水ーサワガニ・ヒメフナムシ・ミミズ・ヒル・プラナリア・ヨコエビ・幼虫 (トビケラ・ガガンボ・カゲロウ) 田川ー魚 (ヨシノボリ・オイカワ) 幼虫 (トビケラ・カゲロウ・トンボ)</p> <p>④記録会。 2年目の今年は、ルーペやピンセットもうまく使える。足の数や、足がどこから出ているかに注目して描こう。</p> 		
<p>授業について</p>	<table border="1" data-bbox="488 685 1482 757"> <tr> <td data-bbox="488 685 724 757">記入者</td> <td data-bbox="724 685 1482 757">稲田 祐美</td> </tr> </table> <p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 (原文のまま)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田川には魚や生き物がいっぱいいて、奈良井川は生き物が少なくてカニがいっぱいいた。 ・いっしょの川でも (川ということはいっしょでも)、ちがうものがとれるんだなあと思った。 ・田川の川は初めてで、新しい魚もいて最高に楽しかった。 ・奈良井川にはいなかったヨシノボリという魚を田川で取った。急にジャンプして川ににげてしまってざんねんだった。 ・田川で死んだ魚をつかまえたと思ったけど、なぜかふっかつしてジャンプしてにげた。もしかしたら、しんだまねをしてかくれていたところを、私たちがつかまえちゃったのかもしれない。 ・奈良井川にプラナリアがいるとは思わなかった。 ・ぜんぜん田川と奈良井川の生き物はちがった。 ・一人だとあぶないからいかないけど田川小学校のみんなと生き物さがしに行くと楽しい。またいきたい。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とても良い活動ができている。今年は松本ホテル学会の皆さんも一緒に活動できた。地元の方がいらして川に詳しくてありがたかった。 ・H26年度は違う学年が田川で、H27・28年度はこの学年が奈良井川脇湧水で、生き物探しを行っている。H29年度は、両方の場所を比較する形で、観察ができてよかった。 <p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ちょっと後に、田川公民館が渚神社の方の川で生き物観察会を開いた。何か共同でできることがあるかもしれない。 ・活動が新聞に載ったところ、地元の方が過去に調べていた水生昆虫の記録を寄贈してくださった。 	記入者	稲田 祐美
記入者	稲田 祐美		

授 業 名	水ってなあに？
実施学校名	松本市立安曇小学校
実施学年、学級 参加人数	6 学年 6 人
担当者	担任 吉嶋 哲男
実施日（期間）	1 2 月 2 0 日 (水)
講師名	(株)環境技術センター（代表・宮澤恵美さん）
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントを用いての講義「水ってなあに」を視聴する。 ・実験装置により、水のでき方や循環の仕組みを学習する。 ・実験で、乾いた地質と湿った地質の保湿力の違いを観察する。 ・自分たちが普段飲んでいる水と日本の水、ヨーロッパの硬水の3つの飲み比べ、水の味や質の違いを体感する。 ・上記の3つについて硬度を調べ、科学的な裏付けを得る。
実施状況 (授業風景)	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: flex-start;"> <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-bottom: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>私たちが普段使い飲んでいる水は、実は循環しており、その水は何億年も前から使われている水が巡り巡って自分たちのところに来ていることを教えていただきました。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-bottom: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>私たちの住む安曇の水がどこから湧き出て、どこを通過して、どのように運ばれてきているのか。そして、私たちが使った水がどのようになっていくのか等を説明してくれました。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>手作りの実験装置によって、水がどのように循環し、空に上がってまた地面におりてきてまた私たちのところに運ばれる様子をわかりやすく見せて、教えてくれました。</p> </div> </div> </div>

実施状況
(授業風景)



乾いたスポンジと湿ったスポンジの上に水を流し、水がスポンジ（地面）に浸透したり、表面を流れたりする様子を見せ、土や森の保水力について実感させてくれました。



普段飲んでいる水（水道水）とペットボトルの水、欧州の硬水の3つについて“きき水”をし、水の味に関心を持ち、実験で硬度を調べて科学的な裏付けを得ました。

記入者

吉嶋 哲男

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・ 46億年も前の水をぼくたちも使っていると聞いて、スーパーミラクルびっくりしました。
- ・ 人間の使える水は、全ての水の0.01%だそうです。地球の青い部分（海）の1%でもめっちゃ小さいのに、その百分の一です。水をこれから大切にしていきたいと思いました。
- ・ 湿ったスポンジと乾いたスポンジを使った実験では、その両方に水を流すと、乾いている方はすぐにぎーっと流れるけど、湿っている方は下にポタポタと流れてきます。とってもわかりやすい！これを作った人は、本当にすごいと思いました。
- ・ フランスの水やミネラルウォーターの違いを知ることができてよかったです。改めて水のおいしさを知ることができました。

2 先生方の感想、要望等

- ・ 普段はあまりに身近で、水のありがたさを実感することがないが、このような機会をもつと、水のありがたさについて思いを寄せることができよいのではないか。
- ・ 話だけでなく、観察や実験もあり、大変楽しく学習することができた。実験装置が大変工夫されていて感心した。

3 その他

- ・ 夏に「黒川・梓川リバーアドベンチャー」を環境教育支援授業で行い、それに続く形で今回の授業をした。大変良かった。

<p>授 業 名</p>	<p>竹筒と蜜蝋を使ったキャンドル作り</p>
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立鎌田小学校</p>
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>5年3組 31名</p>
<p>担当者</p>	<p>守矢 久美</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成29年12月7日（木）</p>
<p>講師名</p>	<p>松本市地球温暖化防止市民ネットワーク（エコネットまつもと）</p>
<p>実施概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に優しい蜜ろうについて ・蜜ろうと廃材を使ったろうそくについて ・ろうそく作り
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<p>○環境に優しい蜜蝋のお話を聞いてから、竹筒の作り方についての説明を聞きました。</p>   <p>○廃材の竹を切り出します</p>  

実施状況
(授業風景)



○光が漏れるようにドリルで穴を開けます。



○最後に蜜蝋を竹筒に入れて完成

記入者

大工原 雅将

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・ろうを作っているときにとても甘いにおいがした。
- ・自分で竹を切ったので、自分のキャンドルに愛着がわいた。
- ・のこぎりは前にも使ったけれど、慣れるまでは苦戦した。
- ・ドリルで穴をあけるのが大変だったけれど、教えに来てくれた方がしっかりとおさえてくれたので、上手に穴を開けることができた。

2 先生方の感想、要望等

- ・キャンプの前にたきぎを切ったことがあり、そのときの経験を生かしてのこぎりを上手に使って切ることができていた。
- ・環境に優しい蜜蝋について、お話を聞いたり、インターネットでも調べたりしたので、興味を持って取り組むことができた。
- ・1人1つ自分のキャンドルを作り、危ない場面では的確に手伝っていただいたので、とてもありがたかった。
- ・12月15日に松本駅前に飾っていただき、子どもたちもとても喜んでいました。

授 業 名	マイ箸づくり
実施学校名	鎌田中間教室
実施学年、学級 参加人数	中学1, 2, 3年生 8名
担当者	櫻井 由美子
実施日（期間）	平成29年11月7日（火）
講師名	寿匏の会（鬼頭さん・小林さん） 中林さん
実施概要	<p><講師のお話></p> <ul style="list-style-type: none"> ・材料の桧についてのお話（木の特徴・年輪 等）を聞く。 ・小刀・匏についてのお話（扱い方・順目や逆目 等）を聞く。 <p><マイ箸づくりの作業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・桧の棒の両端を小刀や匏を用いて先が細くなるように削る。 ・中央をノコギリで切って一膳の箸に仕上げる。 <p><おまけの時間></p> <ul style="list-style-type: none"> ・けん玉やこま（持参していただいた）などで短時間遊ぶ
実施状況 (授業風景)	<div data-bbox="507 1126 1027 1532" data-label="Image"> </div> <p><講師の先生のお話> 材料（桧棒）の特徴や小刀・匏の安全な使い方、削る向きによって生じる“準目と逆目”やうまく削れない時の対処法等について。</p> <p><作業開始> 桧棒の両端を、小刀や匏を用いて削り始めました。左右対称になるように、削り加減を調節しながら…。優しく手を貸してくれる講師の先生方。</p> <div data-bbox="849 1585 1410 2004" data-label="Image"> </div>

実施状況
(授業風景)



<作業に没頭・・・> 「いい感じに削れてきたぞ。」
「だいぶとんがってきたけれど、このくらいでいいのかなあ。」

記入者

櫻井 由美子

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・小刀や鉋を使って形よく桧の棒を削るのは難しかったけれど、初めて体験することが多く、新鮮で楽しかった。
- ・講師の先生方が優しく丁寧に教えてくださり、うれしかった。
- ・最初はとても緊張してドキドキしたが、うまくできないところを講師の先生方が手伝ってくれたり、優しく褒めてくれたりしたおかげで、だんだんに緊張感がとれてきたように思う。
- ・なかなかうまくできた。気に入っている。

2 先生方の感想、要望等

- ・生徒8名という少人数の体験学習であったが、スムーズに進められるようにと、早朝より様々な用具や材料を準備していただき大変ありがたかった。
- ・事前に生徒の様子をお伝えし、いろいろな面でご配慮いただいた。鬼頭さんはじめ小林さん・中林さんにもお手伝いいただき、個々の生徒への細やかなサポートをしていただいた。
- ・温かい励ましの言葉やお褒めの言葉をかけていただいたおかげで、当初参加をいやがっていた生徒もだんだんに明るい表情で学習を進める姿が見られた。

3 その他

- ・講師謝礼を市教委より出していただき大変ありがたかった。

<p>授 業 名</p>	<p>マイ箸づくりと袋縫い</p>
<p>実施学校名</p>	<p>信州大学教育学部附属松本小学校</p>
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>5年東組 36人</p>
<p>担当者</p>	<p>井出幸輔</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成29年10月25日（水）</p>
<p>講師名</p>	<p>松本市社協ボランティアセンター 寿鉋の会</p>
<p>実施概要</p>	<p>小刀を使い、ペーパーナイフを作ってきた子ども。ちがうものを作りたいという願いから、箸づくりをすることになった。箸づくりでは、これまで使用したことのない鉋を使ってマイ箸づくりを行なった。また、箸袋づくりでは、各自が用意した布から全て手縫いで箸袋を作った。</p>
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>道具の説明を受ける子ども</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>実際に鉋を使って箸を作る</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>箸袋を完成させ、ホッと一息</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>講師の先生方の紹介</p> </div> </div>

記入者

井出 幸輔

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・のこぎりを使うのにとっても苦労したんだけど、講師の先生に丁寧に教えてもらって、最後完成してとてもうれしかった。
- ・初めて、鉋を使うのはとてもドキドキしたけど、最後までけがせず作れてよかった。
- ・今まで使ったことのない道具を使う機会になって、鉋で削るのがとても楽しかった。自分専用の鉋が欲しいと思った。
- ・色々な道具を使うのが楽しくて、もっといろいろな道具を使ってみたいと思った。
- ・家庭科の授業では習わなかった縫い方があって、それで縫うのがとても楽しかった。もっと、色々な縫い方を知りたいと思った。
- ・自分で作った、箸と箸袋を早く使ってみたい。
- ・これから大切に使っていきたい。
- ・うまく縫えなくて困っている時に、講師の先生が優しく教えてくれたのが嬉しかった。
- ・きれいに縫うのが難しかったけど、完成したのを見たら、結構上手に縫えたと思う。

2 先生方の感想、要望等

学校とは違う人から学ぶ。ここに最大のメリットがあった気がします。子どもは地域の人から学ぶ機会が多ければいいと思うのですが、学校の特性上、子どもの育つ地域が広範囲で、「私の地域」という思いが持てにくいのも現状です。ただ、今回、こうやって講師の先生方と触れ合う機会があり、そこが大変ありがたかったです。また、それぞれの専門性から学ぶ機会となったことも大きかったです。もっと積極的にそういう機会を設けたいと思いました。

その上で、こういった際の打ち合わせの場面でコーディネートをさせていただける方の存在の大きさを感じました。少ない打ち合わせの中で、学校と講師の先生方をつないでいただきありがたかったです。

授 業 名	あかりのエコ教室
実施学校名	松本市立清水小学校
実施学年、学級 参加人数	4年2組 30名
担当者	担任 佐々木美紀子
実施日（期間）	平成29年12月13日（水）
講師名	パナソニック（株）エコソリューションズ社松本電材営業所
実施概要	<p>① 電球についての知識の習得…家庭で使っている電球形照明ランプには、どんな種類があって、どんな特徴があるかを知る。</p> <p>② 省エネ方法の知識習得と実践…あかりの省エネ方法を知って、自分の家で実践できることを考え、実践する。</p>
実施状況 (授業風景)	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 45%;"> <p>① 白熱灯、蛍光灯、LEDの3種類の電球について、手動で灯りをつける活動から、白熱灯をつけるのにはたくさんの力が必要で、LEDをつけるのには少しの力でつくことを体感しました。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 20px;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 45%;"> <p>② 電力測定器を使い、3種類の電球について、使う電力のワット数を確認しました。白熱灯とLEDのワット数の違いに子どもたちはとても驚いていました。</p> </div> </div>

実施状況
(授業風景)



③ 3つの電球の熱さについても体感しました。(やけどをしない配慮をしていただきました。) LED が全く熱くないことが意外だったようです。なぜ熱くならないかの仕組みについてもお聞きしました。



④ 余った時間で、いろいろなあかりの実験をしていただき、楽しみました。左の写真は、講師の先生がシャープペンシルの芯をフィラメントの代わりにして灯りをつけているところです。熱さもかなりのものでした。

記入者

佐々木美紀子

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・宿題の2日目からは自然と電気を消すことができ、すぐにできることなんだなと思いました。これからも続けていきたいです。
- ・省エネのことについてくわしく説明してもらえて、大切さがとてもよく分かりました。
- ・いろんな装置を使って勉強することができて楽しかったです。

2 先生方の感想、要望等

- ・子どもたちが「何のための学習か」についてよく分かる導入をしていただき、活動の点順についての説明も分かりやすく、混乱なく楽しみながら学習をすすめることができました。
- ・学習後に家庭で実践するための宿題を出していただき、子どもたちもおうちの皆さんも大変意欲的にあかりのエコを実践することができたようです。すぐに実践力につながる環境教育のあり方を学ばせていただきました。大変ありがたかったです。

3 その他

- ・本校では、子どもたちに発言させる際は挙手をして起立してから発言するルールがありますので、打ち合わせの際にそれをお願いすることを忘れないようにしたいと思いました。

授 業 名	あかりのエコ教室
実施学校名	松本市立鎌田小学校
実施学年、学級 参加人数	5年3組 31名
担当者	守矢 久美
実施日（期間）	平成29年12月15日（木）
講師名	パナソニック株式会社エコソリューションズ社松本電材営業所
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・電気の仕組み ・白熱灯、蛍光灯、LEDの電気量測定実験 ・手回し発電
実施状況 (授業風景)	<p>○電気の仕組みについてのお話→手回し発電で明かりをつけよう</p>  

○白熱灯、蛍光灯、LEDの電気量を測定してみよう

実施状況
(授業風景)



記入者

大工原 雅将

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・みんなで一生懸命発電機を回して、光がついたときはとてもうれしかった。
- ・同じような形の電球でも、白熱灯と蛍光灯とLEDで使われる電気が全然ちがうことに驚いた。
- ・LEDよりももっとよいものはあるのかなあ。

2 先生方の感想、要望等

- ・身近な電球にもいろいろな種類があり、それぞれの特徴があることを分かりやすく説明してもらい、子どもたちも興味深く聞いていた。
- ・手回し発電や、測定実験など興味深い実験があり、意欲的に取り組んでいた。

<p>授 業 名</p>	<p>木の授業とバウムクーヘン作り</p>
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立今井小学校</p>
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>特別支援学級（9名）</p>
<p>担当者</p>	<p>特別支援学級担任 小山健二 山本このみ</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成29年11月6日（月）</p>
<p>講師名</p>	<p>寿さと山くらぶ</p>
<p>実施概要</p>	<p>木の年輪についての話を聞いてから、バウムクーヘン作りを行った。</p>
<p>実施状況 (授業風景)</p>	

<p>授業について</p>	<p>記 入 者</p>	<p>特別支援学級担任 山本 このみ</p>
	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年輪を数える事で、その木の樹齢がわかるという事を教えていただくと、子どもたちは「知らなかった。あの木は何年くらいなんだろう。」と言って学校に植えてある木を見上げていました。 ・1回焼くと「1才だね!」と言ったり、2回、3回、4回と焼いていくうちに「6才だから1年生になったよ!」と言ったりして、嬉しそうに焼いていました。グリルの熱さにも負けず、何度も焼いていくと「先生!僕たちのバウムクーヘンはついに5年生になったよ!」という声も聞こえてきました。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちと声をかけ合って協力しながら焼く姿、周りにいる講師の方々や保護者の方々に笑顔で話しかけながら一緒に作業する姿がとても良く、貴重な経験となりました。 	

<p>授 業 名</p>	<p>木の授業とバウムクーヘン作り</p>
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立二子小学校</p>
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>特別支援学級 10名</p>
<p>担当者</p>	<p>あおぞら学級担任 中村 慶子 ひまわり学級担任 山口 若菜</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成29年11月16日（木）</p>
<p>講師名</p>	<p>寿さと山くらぶ</p>
<p>実施概要</p>	<p>1 年輪についてのお話 年輪の作りかを見ながらその年輪ができた年はどんな気候であったのかを想像してみることができるというお話をいただいた。 2 バウムクーヘン作り 安全を共有しながら協力して作業を進め、生地を回しながらくり返し焼き、バウムクーヘンを作った。</p>
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>たまご割りに挑戦中</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>みんなで混ぜ混ぜ</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>二人の息ぴったりだね</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>おいしく焼けたかな？</p> </div> </div>

授業について	記入者	中村 慶子
	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たまごを、あんなにたくさん混ぜて楽しかった。 ・粉をたくさん入れたので、びっくりした。 ・焼くとき、とても煙たかった。 ・みんなで順番にやって、楽しかった。 ・何回もつけて焼いてバウムクーヘンになるのを初めて知った。 ・くるくる回すのが大変だった。 ・お母さんと一緒にやったのがうれしかった。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの学級で体験したことがある児童が数名いましたが、担任をはじめほとんど初体験だった中、分かり易く教えていただき安全に手際よくすすめることができました。 ・保護者の交流の場になれば、とお誘いしましたが、翌日がマラソン大会だったため2人の参加となりました。普段できない親子での体験に、保護者の方も喜んでお帰りになりました。 ・この日は、松本養護学校のお友達1名との交流も兼ねていたの で、とても有意義な活動になりました。特に順番を待ったり、2人組で協力したりするところが苦手な児童にとって、大変勉強になる活動でした。 	

授 業 名	木の授業とバウムクーヘン作り 「学有林学習（木の生長について）」
実施学校名	松本市立四賀小学校
実施学年、学級 参加人数	3学年 18名
担当者	宮坂 到
実施日（期間）	平成30年1月22日(月)
講師名	寿さと山くらぶ
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・木の生長に伴ってできる年輪は、バウムクーヘンの作り方と同じであることを知る。 ・木もバウムクーヘンも、少しずつ太くなっていくことを、体験して確かめる。
実施状況 (授業風景)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>年輪についての説明を聞く</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>卵を40個割り入れる</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>溶かしバターを加える</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>粉類を加えて生地を作る</p> </div> </div>

実施状況
(授業風景)



生地を竹に塗って炭火で焼く



もうすぐ完成



芯材を引き抜く



完成

授業について

記入者

3学年担任 宮坂 到

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・最初は木の勉強をした。1年経つと1つ輪ができることを知った。その後バウムクーヘンを作った。12年分くらいできた。おうちの人にいっぱい話を聞かせたい。
- ・バウムクーヘンを10年分まで焼いた。試食で焼きたてのバウムクーヘンを食べた。激うまだった。
- ・どうしてバウムクーヘンに茶色い薄い線が入っているのか、よく分かった。
- ・バウムクーヘンを焼くとき、(生地が) たれないように回転の速さを調節するように気をつけた。うまくできた。

2 先生方の感想、要望等

- ・18人の児童に対して4人もの講師の方々にお越しいただいた。安全管理もしっかりしていただき、児童が活動を満喫する様子が窺えた。
- ・バウムクーヘンの作り方だけでなく、木の生長がバウムクーヘンと同じであることについてもよく理解できていた。
- ・大変おいしいバウムクーヘンが出来上がり、大満足だった。
- ・費用がやや高額であったと感じた。

授 業 名	木の授業とバウムクーヘン作り
実施学校名	松本市立二子小学校
実施学年、学級 参加人数	4年1組22名 4年2組20名
担当者	4年1組担任 清水省吾 4年2組担任 山本仁子
実施日（期間）	11月1日（水）
講師名	寿さと山くらぶ
実施概要	<p>1 年輪についてのお話 年輪のでき方を見ながらその年輪ができた年はどんな気候であったのか想像してみることができるというお話をいただいた。</p> <p>2 バウムクーヘン作り 安全を共有しながら協力して作業を進め、生地を回しながら繰り返し焼き、バウムクーヘンを作った。</p>
実施状況 (授業風景)	 <p>竹に生地をつけてくるくる回しながらしっかり焼いていきます</p>  <p>40個！たくさんの卵を割って生地作り</p>

授業について	記 入 者	4年2組担任 山本 仁子
	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バウムクーヘンの意味は木だと知りました。それから木に70個輪があったら70歳、ということも教えてもらいました。バウムクーヘン作りでは、ペアになって1本の竹の両側に一人ずつついて焼くというのを何回も繰り返しました。味見をしたらバウムクーヘンはおいしかったけど、煙がかかって大変でした。 ・学校の周りにある木は、だいたい30歳くらいだという話を聞きました。また、年輪という言葉は初めて聞きました。年輪のでき方でそのときのことがわかると聞いてびっくりしました。 ・竹に生地をつけて2人で協力して焼きました。「7回目だから7歳だ」と話しながら焼き、とても楽しかったです。焼きあがって竹から抜いたバウムクーヘンは甘いにおいがして、ほかほかあたたかくて早く食べたい、と思いました。 ・焼きあがったバウムクーヘンを持ち上げたり、また生地をつけてもらったりするときに「後ろを通ります」とか「生地をお願いします」など声をかけました。安全にできてよかったです。 ・卵を40個も使うと聞いてびっくりしました。たくさんの卵と粉とバターをかき混ぜるのは大変でした。持ち帰ったバウムクーヘンは、家で妹と一緒に食べたいです。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童センターなどで体験したことのある児童は数名で、ほとんどの児童が初めての体験でした。最初に火を使うということで、自分も友だちも怪我をしないように「声を掛け合いながら順番に焼いていこう」とお話していただきました。おかげで一人も怪我をすることなく、楽しく体験をすることができました。 ・最初に木の年輪について話をしていただきました。1年ごとに年輪ができ、その年輪を見るとその年雨が多かっただろう、暑い日が続いていただろうと想像することができるというお話でした。二子小学校は来年で開校40周年ということで校庭の桜には40前後の年輪があるというお話もお聞きし、普段何気なく見上げている桜の木に親しみを感じることができました。 ・1グループ40個の卵を割り、生地作りから始まりました。卵を自分で割った経験のない児童もおり、丁寧にアドバイスしていただきました。たくさんの材料を手際よく準備してくださり、時間内に大きなバウムクーヘンを焼き上げることができました。また、味も大変おいしく出来上がり、お土産として持ち帰ることもできたので、保護者のみなさんからも良い体験ができたようだという声をいただきました。 ・打ち合わせの段階から、段取りや準備品などとてもいねいにお話していただき、担任2人とも初めての経験でしたが、不安なく進めることができました。朝早くから来校いただき、火の準備など進めていただき大変ありがたかったです。 	

授 業 名	木の授業とバウムクーヘン作り
実施学校名	松本市立鎌田小学校
実施学年、学級 参加人数	5学年（1～5組）156名
担当者	河西あき、大工原雅将、守矢久美、中林文広、佐野慶子
実施日（期間）	平成29年11月27日（月）、28日（火）
講師名	寿さと山くらぶ
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・木の成長の仕方 ・年輪のでき方や、日光の当たり方による変化の様子 ・年輪からその年の気候などの変化の読み取り方 ・年輪を模したバウムクーヘン作り
実施状況 (授業風景)	<p>○木がどのように大きくなっていくのか年輪を観察しながら知る。</p>   <p>○自分たちで材料を混ぜ、生地を作る</p>  

実施状況
(授業風景)

○炭火に当てながら、生地をかけては焼く、を繰り返す。
木が年輪を重ねるように・・・



記入者

大工原 雅将

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・木がどのように大きくなるのかが、木の輪切りのものを見てよく分かった。
- ・木が大きくなるのに何十年もかかるんだなあと思った。
- ・バウムクーヘンを作りながら、こんな風に木も太くなっていくんだなあということが分かった

2 先生方の感想、要望等

- ・木を輪切りにしたものを使いながら、1年ごとに年輪が1つ増え、少しずつ木が太くなっていく様子を分かりやすくお話していただき、興味深かった。
- ・バウムクーヘン作りを楽しみながら、だんだんと木が太くなっていくことを体験することができ、子どもたちが意欲的にかつどうできてよかった。
- ・材料などすべて用意していただき、とてもありがたかった。

<p>授 業 名</p>	<p>四賀の産業とバウムクーヘン作り</p>
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立会田中学校</p>
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>2 学年（23名）</p>
<p>担当者</p>	<p>藤原 賢志 教諭 および2学年職員</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成29年11月9日（木）</p>
<p>講師名</p>	<p>寿さと山くらぶ 鈴木様 他2名、会田共同養鶏組合 松本様</p>
<p>実施概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会田共同養鶏組合の概要説明および「あいだのたまご」について ・バウムクーヘン作り
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 20px;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>←</p> <p>はじめに、会田養鶏様から会社の概要と歴史について座学がありました。あいだのたまごの長い歴史について学びました。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 20px;"> <p>→</p> <p>バウムクーヘンの作り方を教わって、材料をまぜているところです。地元で生産された新鮮なたまごにワクワクしています。</p> </div>  </div> </div>

実施状況
(授業風景)



←
竹の棒に何度もたまごを
かけていきます。二人の息を
合わせて作ります。じっく
り焼きあげていきます。

→
バウムクーヘン完成。
きれいに焼き上がりました。
この後、切り分けて早速
食べてみました。
地元の産業の偉大さを知り
しっかりと味わっていました。



記 入 者 藤原 賢志

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・四賀地区にある会田養鶏には長い歴史があって、こんな企業が自分の住む地区にあることはすごいと思った。
- ・他にも、四賀の産業について調べて、自分たちの地元にはどんな技術があるのかを知りたいと思った。
- ・バウムクーヘンの作り方がわかった。年輪のように何層にも重なってできあがるのが面白かった。今度は家でも作ってみたい。

2 先生方の感想、要望等

- ・今年度の2学年のテーマである「四賀の産業」についての学習ができ、地元産業の「会田養鶏」について学ぶことができました。近隣の産業の歴史と技術力の高さを知ることができました。
- ・学校の敷地内で、炭火でバウムクーヘンをつくる活動ができ、自然のありがたさとつくることの面白さを実感できました。楽しそうに活動を行っていました。

授 業 名	木材の活用法
実施学校名	松本市立島内小学校
実施学年、学級 参加人数	5年2組32名
担当者	担任 小淵 敏行
実施日（期間）	平成29年11月8日（水）
講師名	松本林業士会 鈴木さん（寿さと山くらぶ）
実施概要	<p>○寿さと山くらぶの鈴木さんの指導のもと、木材の活用を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「間伐材を使った名札づくり」 3, 4人のグループに分かれて、名札作りを行った。間伐材の木をのこぎりで数 cm の厚さに切り、やすりで磨いて自分の名前を書いた。 ・「ロープワーク」 ビニールひもの鎖結びや三つ編みを教えていただき、より強いひもにする方法を教わった。 ・「ブランコ体験」 講師の方が学校の木にロープをかけて作った、簡易ブランコに一人ひとり乗る体験をした。 ・「安全についてのご指導」 道具の扱い方や、遊び場の設置について、安全に実施することについてご指導を受けた。
実施状況 (授業風景)	 <p>様々な体験をして、新しいことができるようになりました。</p>

授業について	記入者	5年2組 担任 小淵 敏行
	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木を切るのは力が必要だったけど、友だちと協力して、楽しく活動することができた。 ・作った名札がよい思い出になって、大切にしたい。 ・ロープワークは難しくてなかなかできなかったけど、この後もチャレンジしてやってみたい。 ・ブランコは少しこわかったけど楽しかった。 ・また道具を使って、何かを作りたい。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>子ども達が自分たちで遊び場をつくりたいという願いから、よいきっかけになればと思い、このプログラムをお願いしました。子ども達も楽しみにしており、2時間の間集中して活動に取り組んでいました。また安全についてのお話もいただき、考えさせられる時間にもなりました。間伐材についても5年の社会の授業と関連があり、様々な学習につなげていける内容でした。</p> <p>このプログラム後「ハンモックをつくりたい」とロープワークに子ども達の意識が向き、現在作成中です。講師の方からロープワークの本を借りて試行錯誤中ですが、子ども達なりに創意工夫の力がついてきていると思います。</p> <p>またこのような体験があれば是非お願いしたいと思いました。ありがとうございました。</p>	

<p>授業名</p>	<p>緑のカーテン設置指導</p>
<p>実施学校</p>	<p>今井小学校</p>
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>1年1組 31名 2年1組 27名</p>
<p>担当者</p>	<p>1学年担任 柳澤 由香 2学年担任 浦 嘉宏</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成29年5月25日（木）</p>
<p>講師名</p>	<p>松本市緑化協会 (株) 奥原造園</p>
<p>実施概要</p>	<p>1 緑のカーテンによる日陰があることで、教室が涼しくなったり、 温暖化防止対策になったりすることをプレゼンテーションしてもらいながら学んだ。 2 実際に種を蒔いて、水やりをした。</p>
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;">  <p style="text-align: center;">温暖化防止対策について勉強中</p>  <p style="text-align: center;">立派なカーテンができました</p>  <p style="text-align: center;">たくさんの種がとれました</p>  </div>

記入者

2学年担任 浦 嘉宏

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・たくさん水をあげて、早く芽が出てくるといいな。
- ・去年もやったけど、去年はうまくいかなかったから、今年こそは立派なカーテンができるといいな。
- ・家でも、今年は、緑のカーテンを作ってみようかな。
- ・ぼくの家も、緑のカーテンを作っているけど、学校みたいに大きくはできないから、大きく育つのが楽しみだな。
- ・朝顔が咲いたら色水あそびや押し花遊びをやってみたいな。
- ・緑のカーテンで、日陰ができて、少しでも教室の中が涼しくなってくれるといいな。

2 先生方の感想、要望等

奥原さんには、昨年同様、どうして緑のカーテンを作ると温暖化対策になるのかということをお教えいただきました。2年生は去年も聞いていますが、改めて緑のカーテンの大切さに気づいた様子でした。とても気さくに子どもたちにも話しかけてくださり、子どもたちの中から自然と質問が出たり、作業内容について聞いたりすることができました。

去年もそうでしたが、2年生の外の緑のカーテンは大きくなるのですが、1年生の前の緑のカーテンがなかなか大きく成長しませんでした。1年生の子どもたちも、少しがっかりしていました。水も、同じようにあげてはいましたが、土壌の状態やお日様の当たり具合、肥料にもよるのかな？と思います。それでも、子どもたちは芽が出てくると大喜びして、どんどんつるを伸ばしていくアサガオの様子に目を輝かせていました。特に、去年うまくいかなかった2年生は、「今年こそはと」、とても一生懸命草取りや水やりに取り組んでいました。だんだん成長して行って花が咲き出すと、花を取って押し花にしたり、色水を作ったりする姿が見られました。

日差しもさえぎってくれ、西日が強く当たる頃になった夏休み明けは、とても役に立ちました。来年は、もっと水やりをしっかりとしたり、追肥をしたりして、今年以上のカーテンを作りたいと思います。

<p>授 業 名</p>	<p>緑のカーテン設置指導</p>	
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立田川小学校</p>	
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>1 学年 参加人数 41 名</p>	
<p>担当者</p>	<p>担任 草間 睦実 柴崎 武利</p>	
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成29年5月23日（火）</p>	
<p>講師名</p>	<p>松本市緑化協会 （株）奥原造園</p>	
<p>実施概要</p>	<p>1 スライド（テレビ）による緑のカーテンの効果についての説明と種のまき方の説明</p> <p>2 花壇での種のまき方のご指導と支援</p>	
<p>実施状況 （授業風景）</p>		
	<p>緑のカーテンの効果や意義の説明を受ける。</p>	<p>種をもらって自分でまく</p>
		
	<p>たっぷり水をあげました。</p>	

授業について	記入者	柴崎 武利
	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で種をまくことができてたのしかった。芽が出てくるのが楽しみです。 ・思ったより簡単にできた。芽が出てくるように、毎日水やりをしたいです。 ・種をまいて数日後、芽が出てくると、「芽が出てきたよ。」とうれしそうに教えてくれた。水やりを毎朝率先して行う児童がいて、毎日の変化を楽しみにしている様子だった。その後、つぼみができ、次々と花が開き、その度に、喜びを感じている様子だった。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>つるを這わせるネット張りからその片づけまで、奥原造園さんには本当にお世話になりました。</p> <p>当日の説明も、テレビを使って話してくださり、1年生にもわかりやすかったと思います。</p> <p>たくさん種をまいたので、たくさん芽が出てきました。間引きをあまりしなかったことや、伸びてくる雑草の草取りが追いつかなかったことで、つるの成長が遅かったかもしれません。それでも、つるの長さに驚いたり、花の形や色に興味をもったりする児童が多く、良い体験をさせていただけたと思います。咲いた花で色水作りもさせていただくこともでき、とても楽しく学習することができました。</p>	

<p>授 業 名</p>	<p>緑のカーテン設置指導「あさがおさん おおきくなあれ」</p>
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立菅野小学校</p>
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>1 学年 3 学級 参加人数 1 0 5 名</p>
<p>担当者</p>	<p>小林 祐子</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成 2 9 年 5 月 2 6 日（金）</p>
<p>講師名</p>	<p>松本市緑化協会 （株）奥原造園</p>
<p>実施概要</p>	<p>生活科単元「あさがおさん おおきくなあれ」の一環として実施</p> <p>① 花壇への支柱・ネットの設置 ② 種まき・世話のしかたの指導</p>
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 50%;"> <p>「あさがおの種まき」</p> <p>「みどりのカーテンってなんだろう？」 「たねをまくのがたのしみだな。」</p> <p>お話を聞いて、ワクワクしている一年生。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 20px;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 50%;"> <p>「芽が出てきたよ！」</p> <p>「あっ。めがでてる。」 「たねのかわをかぶっているよ。」 「がんばれー！」</p> <p>小さな芽に、感動している一年生。</p> </div> </div>

<p>実施状況 (授業風景)</p>	<p>「畑いっぱい、あさがおの芽」</p> <p>水やりをしながら、大きくなる芽にお話をする一年生。</p> <p>「うわー。たっくさんめがでているね。」 「もっと、もっと、お水をあげよう。」 「大きくそだってね。」</p>			
	<p>「完成した緑のカーテン」</p> <p>日陰の涼しさを感じながら、花の叩き染めを楽しんだり、種取りをしたりしました。</p> <p>「いろんないろの花だね。」 「すずしいね。」 「こんなにたねがとれた。」</p>			
<p>授業について</p>	<table border="1" data-bbox="469 1099 1482 1178"> <tr> <td data-bbox="469 1099 711 1178">記入者</td> <td data-bbox="711 1099 1482 1178">小林 祐子</td> </tr> </table> <p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一年生は、一人一鉢『自分のあさがお』を育てるのですが、それと同じように小さな種を大切にまき、水をやって育てる姿がありました。小さな芽が出た時には、とてもうれしそうでした。教室の窓の外に、どんどんと蔓が伸び、大きな葉を広げる様子には、鉢のあさがおとは異なり、驚きも感じていました。花の叩き染めや色水作り、種取りまで楽しんだ子どもたちでしたが、カーテン状になってできた日陰の涼しさも感じ取ることができました。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室前の前面に支柱やネットを設置するのは、職員だけではなかなか難しいため、この事業で奥原造園さんに設置していただけてとてもありがたかった。支柱やネットは、昨年度まで使用していたものを使っていましたが、老朽化したため、来年度は新しいものに取り替えたほうがよいと思われます。 ・もっと葉を生い茂らすことができたと思うが、夏休み中の水遣りや追肥等の世話が十分にできなかった。効果的なノウハウを学びたい。 		記入者	小林 祐子
記入者	小林 祐子			

授 業 名	緑のカーテン設置指導
実施学校名	松本市立島内小学校
実施学年、学級 参加人数	1 学年 1 2 0 名 2 学年 1 1 3 名
担当者	1 年担任 岡村亜紀 小松健一 安江奈緒子 波多腰さや香 2 年担任 今井優花 滝口雅彦 大木紀子 齋藤一弥
実施日（期間）	平成 2 9 年 5 月～1 0 月
講師名	松本市緑化協会 (株)奥原造園
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・奥原造園の指導により、あさがお、ひょうたん、きゅうりなど の つるものを 1 学年 4 クラス 2 学年 4 クラスの計 8 クラスで育てることにより、夏の温暖化現象の抑制になるということを学ぶ活動を行った。 ・「スライドによるオリエンテーション」 地球温暖化による弊害を学ぶことができた。冷房等による大量の電気消費をすることにより、エコ活動の必要性を学んだ。 また、光合成により空気がきれいになることを学んだ。 ・「全員であさがおのたねをうえつける」 各教室前の庭に、人差し指の第一関節までの穴を開け、たねを植えた。土も、やわらかくかけ発芽を促した。 ・「水遣り、追肥により成育を促す」 日々の当番活動による水遣り、時として行う追肥によって、発芽成長を促し、日々の観察を行った。 ・「残暑をしのぐみどりのカーテン」 夏休み明け、教室の窓の高さより成長したあさがおにより、教室窓側に日陰ができた。避暑となり自然による生活の知恵を学ぶことができた。 ・「リース作り」 あさがおの枯れたツルを利用して、クリスマスリースを作り、飾りつけとしてお楽しみ会等に活用することができた。生活科、図工としての発展ができた。

実施状況
(授業風景)



奥原造園さんからいただいたアサガオの種を蒔きました。



アサガオの種にたっぷり水をあげました。



どうして緑のカーテンが必要かスライドを使って説明してもらいました。



2年生は2回目なのでスムーズに作業を行いました。

授業について

記入者

2年4組 担任 齊藤 一弥

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・アサガオがカーテンになって教室の温度を下げてくれるなんて知らなかった。
- ・アサガオの種をいっぱい蒔いて、たくさん花が咲くといいな。
- ・水はあげているんだけど、あんまり大きくならないな。
- ・緑のカーテンの下は日陰になって涼しい。
- ・アサガオで色水遊びをしたらきれいな色がでてうれしかった。

2 先生方の感想、要望等

アサガオの葉っぱが隙間なく茂って、日陰になることを願っているが、その年の気象条件により、成長に差があるため、今年度はなかなかアサガオが大きく育たなかった。

育てていく中で、朝顔のきれいな花が咲いたことに喜んだり、花を使って色水を作ったりすることができることはとてもよい。

室内の温度を下げて、よい環境で生活することと合わせて、自分たちが住む地球を守るという意識をもたせるためにも、今後もこの活動は続けて行きたいと考える。

<p>授 業 名</p>	<p>緑のカーテン設置指導「緑のカーテン作り」</p>
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立本郷小学校</p>
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>1, 2年4クラス (110人)</p>
<p>担当者</p>	<p>担任 小笠原督 土屋真由子 大月まゆみ 松本諒子</p>
<p>実施日 (期間)</p>	<p>平成29年5月25日 (木)</p>
<p>講師名</p>	<p>松本市緑化協会 (株) 奥原造園の方</p>
<p>実施概要</p>	<p>・緑のカーテンとは、へちま、ゴーヤ、きゅうり、あさがおのツタなどを窓際に設置したネットなどに這わせて育て、日の光を遮ることで緑のカーテンが出来る事を学んだ。また、地球温暖化も騒がれている中、自然のものを使って涼しさを作るよさについて学んだ。 ・学年の実態にあわせ、育てたものを使ってリース作りやひょうたんの水筒作りを行った。</p>
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>緑のカーテンについて説明を聞く</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>朝顔の種をまく</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>つるを網から取り除く</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>育ったひょうたんで何を作ろうか</p> </div> </div>

<p>授業について</p>	<p>記入者</p>	<p>塚原 章治</p>
	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・植物の成長を楽しみに、水くれや草取りなどの世話を責任を持って行っていた。 ・朝顔のリース作りでは、「もっと太くしたいな。」「もう少し巻いてみよう!」と言いながら、休み時間なども使い、根気よくリース作りに取り組んだ。 ・つるが、伸びたり縮んだりするものがあったり、バネのような形があったり、ひょうたん作りでは成長の様子を細かく観察していた。伸びも、長さをはかって記録した。収穫後は、「重かった」水筒にしたとき、「くさかったけど水筒になってうれしかった」と感想をいった子もいた。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校では簡単にできない棚を作っていたいただき、さらに絵などを使ってわかりやすく緑のカーテンについて説明をしていただきありがたかった。また、棚を作っていたいただいた後は、クラスによって育てたい植物を考え、その後何をしたいかなど学習を発展させることが出来た。 ・低学年ではあるが、子ども達なりに涼しさを感じたり、自然のよさを感じることができたと思う。 ・実際に自分たちで育てることで、愛着がもてた。 	

<p>授 業 名</p>	<p>緑のカーテン設置事業</p>
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立鎌田小学校</p>
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>特別支援3クラス、4年1クラス 計60名</p>
<p>担当者</p>	<p>大工原雅将、丸山美由紀</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成29年5月22日（月）</p>
<p>講師名</p>	<p>松本市緑化協会（株）奥原造園</p>
<p>実施概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化について ・緑のカーテンの意味 ・アサガオの種まき
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<p>○地球温暖化についての説明</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>○持ってきていただいた種をまく</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

実施状況
(授業風景)

○水やりも忘れずに



○夏場の日よけとして利用 (写真なし)

記入者

大工原 雅将

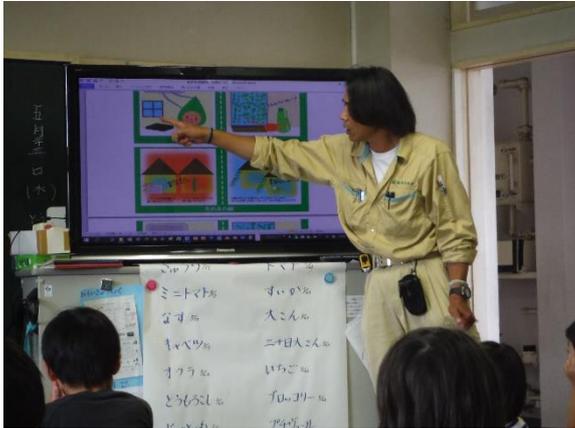
授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・人間が利用している機械などが原因で、地球の温度が上がってきてしまっているのが分かった。
- ・自然のものを利用することで、地球に優しい活動ができることがわかった。
- ・みんなで種をまいて、世話をしてグリーンカーテンができてよかった。
- ・もう少しアサガオが大きくなってくれるといいなあと思った。

2 先生方の感想、要望等

- ・地球温暖化について、映像などを使って興味深く説明していただいてよかった。
- ・たっぷり朝顔の種を持ってきていただき、子どもたちはとても喜んで種蒔きをし、その後も水やりなど意欲的に行うことができた。
- ・土の栄養が足りなかったのか、思ったよりもアサガオのつるが伸びなかったが、グリーンカーテンの意味を体験的に学ぶことができた。

<p>授 業 名</p>	<p>緑のカーテン設置事業 「グリーンカーテンを育てよう」</p>
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立中山小学校</p>
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>2年1組 22名</p>
<p>担当者</p>	<p>担任 秦 文子</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成29年5月25日（水）</p>
<p>講師名</p>	<p>松本市緑化協会 (株)奥原造園 奥原正司氏</p>
<p>実施概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーンカーテン（緑のカーテン）とは何かスライドを見ながら説明していただき、子どもたちもエネルギーを使わず環境にやさしい涼み方について考えることができた。 ・グリーンカーテンとしてアサガオを育て、アサガオに水をやることで葉っぱから水が出て（蒸散し）、そのおかげで空気が冷やされて暑い日でも冷房を使うことなく涼しくなると学んだ。 ・その後、教室前の花壇にアサガオの種まきを行った。
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<p>奥原さんによる グリーンカーテン についての授業</p>  <p>奥原さんに教えていただきながら アサガオの種まきをする児童</p> 

授業について	記入者	2年担任 秦 文子
	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンカーテンという言葉は初めて聞いたけど、どういうものかわかってよかった。 ・アサガオがカーテンみたいになるなんてびっくりした。 ・クーラーを使っていたらたくさん電気を使うけど、グリーンカーテンなら、電気を使わなくても涼しいから良いと思った。 ・一生懸命育てて、きれいなアサガオがたくさん咲くと良いな。 ・本当のカーテンになるくらいアサガオを大きく育てたい。 ・2階まで届くくらいに大きく育てて欲しい。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師の奥原さんに、キャラクターを使いながらスライドでグリーンカーテンの良さを教えていただき、子どもたちにも大変分かりやすかったです。環境の問題やエコな生活についても考えるきっかけとなりました。 ・奥原造園さんにネットの設置・片付けまでやっていただき、大変ありがたかったです。 ・アサガオだけでなく、キュウリも植えて学級園の他の野菜とともに楽しみました。グリーンカーテンの涼しさをより一層引き立ててくれました。 ・アサガオの種をとったので、また来年、家庭でグリーンカーテンを作ってみたい、と子どもたちも楽しみにしています。 	

<p>授 業 名</p>	<p>緑のカーテン設置指導</p>
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立源池小学校</p>
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>4 学年（2 学級 5 4 名）</p>
<p>担当者</p>	<p>堀内 勝 平出 葉子</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成29年5月26日（金）：奥原造園さんによる授業 ～10月頃まで</p>
<p>協力団体名</p>	<p>松本市緑化協会 奥原造園</p>
<p>実施概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化・緑のカーテンの効果について映像を使い、奥原さんの講義をお聞きし、緑のカーテンによって快適に過ごせることや、その効果が省エネにつながることを学んだ。 ・緑のカーテンとなる植物（あさがお・へちま）の育て方を教わり、植え方の指導をしていただいた。 ・その後、実際に種を蒔き、苗を植えた。 ・交代で水やりなどの世話をし、種を収穫し、つるをとってネットを片づけた。
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;">  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「奥原先生、お願いします！」 「地球の温度が上がっているという話は本当なんですか？」</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 5px 0;"> <p>「地球の温暖化の予想を見てみましょう！」 「2099年…真っ赤になってる！ほんとに…！」</p> </div>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「緑のカーテンの効果ってすごく大きいってわかりました。ぼくも、出来ることを考えて、ちょっとずつやっていきたいです！」</p> </div>  </div>

実施状況
(授業風景)



「肥料もまかないといけないよね！」
「種は、だいたい小指の先くらいの穴に入れればいいよ！」
「早く育たないかな！楽しみだな！」

「朝顔が2階や3階まで伸びているよ！」
「水やりを忘れないようにしないとイケないね！」
「自分たちのクラスの前まで伸びてくればいいのにな！」



記入者 堀内 勝

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・地球の温暖化があんなに進んでいるなんてビックリした。自分のできる事が何かないか真剣に考えるようになった。
- ・あさがおやヘチマが実ってよかったけど、今年は少ないという話だった。肥料をもっとやらないといけなかったかなと思う。
- ・種をとったりつるをとったりするのは大変だった。
(ネットに巻きついていて、ひっぱってもなかなか取れない)
- ・講師の先生がとてもわかりやすく教えてくれてうれしかった。
- ・少しでも地球の温暖化を防げるような活動をしたかった。

2 先生方の感想、要望等

- ・地球温暖化という言葉を知っている児童はいたが、実際に気温が変化していくシミュレーションを見せてもらい、改めて「気温が上がっていくんだ。」という実感を持つことができ、今後の授業に繋がっていく学習ができた。
- ・「水は、くんですぐのものではなく、くみ置きのをまく」など水やりのコツを教えていただき、造園のプロの方から育て方についていろいろ教えていただけるのはありがたいことだと思った。
- ・種を地面に直接まいたが、日当たりや水やり、栄養の関係からか、思ったようには茂らなかった。例年同じ場所で行っているのので、今後工夫をしていきたい。

<p>授 業 名</p>	<p>緑のカーテン設置指導 『「緑のカーテン」を作ろう』</p>
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立芳川小学校</p>
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>4 学年 4 学級 参加人数 1 2 8 名</p>
<p>担当者</p>	<p>4 年 3 組 担任 大久保 雄次</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成 2 9 年 1 1 月 2 8 日（火）</p>
<p>講師名</p>	<p>松本市緑化協会 (株)奥原造園 奥原 美智さん</p>
<p>実施概要</p>	<p>○理科「ヘチマの観察」 ○講師の奥原さんよりお話をお聞きして、下記について学んだ。 ・地球温暖化について ・緑のカーテンの効果について</p>
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>ヘチマの苗を植えて、緑のカーテン作りに取り組む子どもたち 奥原さんのお話を、真剣に聞きます。このままだったら、地球はどうなってしまうんだろう？</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>夏、どこまで大きくなるかなあ・・・ヘチマの観察</p>

記入者

4学年担任 大久保 雄次

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

○奥原さんのお話から

- ・地球の温度が上がり続けていることを知らなかった。
 - ・テレビで時々聞いていた「温暖化」の意味がわかった。
 - ・緑のカーテンで、暑さをふせげるなんて知りませんでした。
 - ・地球温暖化が進んでいく映像をみて、驚いた。(何にもしないでこのまま進んでいったら、地球全体が真っ赤になってしまうことが分かりました。
 - ・地球温暖化が進むと、50年後100年後に、地球がどうなってしまうかわからないので、地球温暖化を少しでも遅らせたい。
 - ・来年は、学校だけでなく緑のカーテンをお家でも作って、ヘチマとアサガオを育てていきたいです。お家の人や地域の人にもきれいなアサガオの花やヘチマの花や実を見てもらいたいです。
- 理科では、ヘチマがぐんぐん伸びて大きくなっていく姿を観察・することで、植物の生長を理解することができた。

2 先生方の感想、要望等

- ・環境学習ではパワーポイントで地図やグラフを使い、児童が興味を引くように工夫して授業をしていただきありがたかった。ただ4年生にはやや難しい内容も含まれていた。
- ・緑のカーテンを作っていたいただいたおかげで理科でのヘチマの観察がとてもやりやすく、ありがたかった。また普段なかなかできない環境教育にも目を向けるよい機会となった。
- ・奥原造園さんが、棚作りを手際よくやってくださり、大変助かった。
- ・今年度は、ヘチマ棚の設置→ヘチマの観察→奥原さんのお話の手順で行った。夏に緑のカーテンが作った日陰が、周囲の気温よりも涼しくなることを実感した子どもたちは、奥原さんのお話(温暖化抑制のための緑のカーテン)を理解しやすかった。

授 業 名	緑のカーテン設置指導
実施学校名	松本市立鎌田中学校
実施学年、学級 参加人数	造園委員会 32名
担当者	辻中 健斗
実施日（期間）	平成29年6月1日(木)
講師名	松本市緑化協会 (株)奥原造園
実施概要	管理棟東側に、ゴーヤとヘブンリーブルーを植え、緑のカーテンづくりを行った。
実施状況 (授業風景)	 <p>腐葉土と肥料を混ぜて土を作り、南側にゴーヤ、北側にヘブンリーブルーを植えた。(写真：立派に育った緑のカーテン)</p>

<p>授業について</p>	<p>記 入 者</p>	<p>三尾 浩幸</p>
	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑のカーテンが意外と大きくて驚いた。 ・生徒の何人かは、ゴーヤを持ち帰って家庭で食べた。 ・植物を育てるためには、土作りと水やりが大切だとわかった。 ・緑のカーテンづくりにふさわしい植物を調べてみたい。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑のカーテンによって、管理棟が涼しくなった。また、ゴーヤがたくさん収穫できて、おいしくいただいた。 ・ヘブンリーブルーの花期が長かったので、きれいな花を楽しむことができた。 ・ゴーヤやヘブンリーブルーが、職員間のちょっとした話題になって良かった。 	

<p>授業名</p>	<p>身近な自然観察</p>
<p>実施学校</p>	<p>松本市立今井小学校</p>
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>1年1組 31名 2年1組 27名</p>
<p>担当者</p>	<p>1学年担任 柳澤 由香 2学年担任 浦 嘉宏</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成29年10月4日（水）</p>
<p>講師名</p>	<p>自然観察の会 「ひこばえ」</p>
<p>実施概要</p>	<p>1 今井小学校の学習公園で、いろいろな植物や生き物を集めてくるネイチャービンゴをして、自分たちで探してきて集めたりして観察した。 2 どんぐりやくるみを採集したり、くずのツルなどの自然のものを使って遊んだりした。</p>
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">ネイチャービンゴで探してこよう これはどこに当てはまるかな？</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">何かいるぞ！見つけろ！！ ツルでブランコ作ったよ！</p>

授業について	記入者	2 学年担任 浦 嘉宏
	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな植物のことが知れてよかった。 ・学習公園にはいろいろな植物や昆虫がいることが分かって、今度、家の人と遊びに来ようと思った。 ・鳥の巣や初めて見つけた木の実や、くもなどの生き物も見つけられてよかった。 ・たくさんの栗やくるみが落ちていて、お家に持って帰ろうと袋いっぱい集めている子がたくさんいた。 ・男の子たちは、昆虫に興味が強くて、昆虫探しに熱中していた。 ・自然の中を走り回り、とても生き生きとした姿が多く見られた。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>2年生は昨年も実施してもらいましたが、学習公園の活用としては、とてもよい活動だと思います。今まであまり活用されていなかった学習公園でしたが、いろいろな植物や昆虫、動物について教えていただいたことで、休日にもお家の方と行ったという話を子どもたちからも聞くことができました。学習公園を中心に少しずつ自然教育が広がってきていると感じます。教えていただいたネイチャービンゴは、別の場所や機会でも活用できるなと思いました。</p> <p>「ひこばえ」の方には、昨年と違った活動を考えていただき、2年生の子どもたちでも飽きることなく、活動することができました。とてもありがたかったです。</p> <p>来年度もぜひ、お越しいただき、学習公園の魅力や自然についての学習を更に深めるきっかけをつくっていただきたいと思います。</p>	

<p>授 業 名</p>	<p>体験プログラムを中心とした自然体験学習 1 「野外体験」</p>
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立田川小学校</p>
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>知的障害学級 やまびこ 参加人数 6 名</p>
<p>担当者</p>	<p>知的障害学級担任 小口恭子</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成 2 9 年 1 1 月 1 7 日（金）</p>
<p>講師名</p>	<p>体験倉庫 かけはし 藤村 哲 先生 百瀬 先生</p>
<p>実施概要</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 燃やす材料を中庭から探すことで、乾いた枝でないと燃えないことに気がついた。 2 一人ずつマッチを使って火をつけてみることで、マッチの扱い方や火をつけるための方法を学んだ。 3 おこした火を使ってマシュマロを焼く中で、煙や周りの友だちの位置を考えて自分の位置を考えることを知った。 4 中庭で身の回りの動植物についてのビンゴゲームを行い、身近な動植物について関心を持った。 5 バームクーヘン作りに挑戦することで、竹筒を回すことにより、友だちと協力してやり遂げる大事さを知った。
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>枯れ枝を見つけてドラム缶に入れた。</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>一人ずつマッチで火をつけた。</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>マシュマロを火で焼いた。</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>煙が流れる方向について気がついた。</p> </div> </div>

実施状況
(授業風景)



先生から出された問題の答えを
中庭で探した。



バームクーヘン作りに挑戦した。

記入者

知的障害学級担任 小口 恭子

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・初めてマッチを使ったから、初めは怖かったです。なかなかマッチが擦れなくて何度もやり直しました。火がついたときはうれしくて、何度も火をつけました。
- ・マシュマロを焼いたときは、火に近づけ過ぎたり、いつまでも焼いていたりしたので真っ黒焦げになってしまいました。でも焼いたマシュマロはおいしかったです。
- ・「やわらかい葉っぱ」等をみんなで相談しながら見つけて楽しかったです。
- ・一番楽しかったのは、バームクーヘン作りです。二人で竹を回す方向やスピードを合わせて動かすのは初め難しかったけれど、おいしいバームクーヘンができてうれしかったです。またやりたいです。

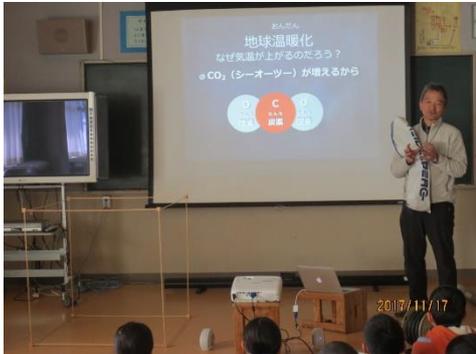
2 先生方の感想、要望等

知的障害学級ということで、普段の理科の授業では参加しても友だちがやっている様子を見ているだけのことが多い子どもたちにとって、実際に自分でできるようになるまで繰り返し火をつけたり、指示された物を見つけたりする体験はとても貴重だったと思います。みんな夢中で取り組んでいました。失敗しても怒ったり投げ出したりしないで、友だちと協力をしながらがんばり続けられたことは、自立活動としても有効でした。

いつもの先生と違う知らない先生から教えていただくという経験や初めてのことに挑戦してみるという経験は特別支援学級の子どもたちにとってとても有意義な活動だと思います。しかし、在籍人数が少ない学級なので、自分たちだけで講師の先生をお願いすることは予算的にとても難しいです。もし可能なら今後もこのようなチャンスがあればとてもうれしいです。

<p>授 業 名</p>	<p>体感プログラムを中心とした自然体験学習2 「野外体験 学校の自然を生かそう」</p>
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立島内小学校</p>
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>4年3組 36名</p>
<p>担当者</p>	<p>武田 亜紀</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成29年11月14日(火) 1～4校時</p>
<p>講師名</p>	<p>信州野外体験楽校ぷらす</p>
<p>実施概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の自然を生かしたネイチャーゲーム(カモフラージュ、フィールドビンゴ、たから物さがし)を通して、自然に目を向け、自然の生命力の強さを学んだ。 ・燻製づくりを通して、人は火と昔から関わりながら生活してきたことを知り、火の扱いに気をつけながらこれからも火と共に生活していくことの大切さを学んだ。
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>どんなことをするんだろう？</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>煙が桜の香りだ！</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>火起こしに釘付け。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>宝さがしで見つけたよ！</p> </div> </div>

授業について	記 入 者	武田 亜紀
	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのゲームも楽しかった。また遊びたい。 ・今まで毎日見てきた自然だけど、じっくり見ると初めて知ることがたくさんあった。 ・自然のものに興味を持てるようになった。 ・自然のものを使って、こんなに楽しく遊べるなんて思わなかった。全校のみんなにも伝えて、みんなで楽しみたい。 ・私たちはけがをすれば病院に行けるけど、木は長い年月をかけて自分の力で治していくことがわかった。これからは、木や植物を大切にして、傷つけないようにしたい。 ・クラスみんなで楽しめて、本当に楽しい時間だった。 ・火の扱い方を間違えないようにしていきたい。 ・初めて食べる燻製のちくわの味は、格別だった。家でも作ってみたい。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>当日は、3名の先生に来ていただき、子どもたち全員が自然を通して楽しんで活動できるよう、入念な準備を行っていただき、充実した時間を過ごすことができました。</p> <p>子どもたちは、普段何気なく見ている自然を、じっくりと見たり、触れたりして、様々なゲームに取り組みました。どの子の表情も明るく、心から楽しんでいる様子が伝わってきました。</p> <p>体験終了後、子どもたちはこの体験を全校の人たちにも、ぜひ伝えたいという願いを持ち、活動内容をまとめ、紹介する活動が始まっています。</p> <p>自然分野の専門の方にお越しいただき、子どもたちが体験を通して学ぶことで、自然を大切にしていくことを実感していきました。これからも、このような活動の場を設定していけたらと思います。</p>	

<p>授 業 名</p>	<p>地球温暖化防止と 木質バイオマスエネルギー利用方法 「バイオマスで炊き出し体験」</p>
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立清水小学校</p>
<p>実施学年学級 参加人数</p>	<p>4年1組 30名</p>
<p>担当者</p>	<p>片桐 さつき</p>
<p>実施日 (期間)</p>	<p>平成29年11月17日 (金)</p>
<p>講師名</p>	<p>自然エネルギーネットまつもと</p>
<p>実施概要</p>	<p>○ロケットストーブと炊飯袋を使ってのご飯炊き体験 ○講師の先生による「環境問題や自然エネルギー」についての話</p>
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>メタルマッチ体験</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ロケットストーブに着火</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>環境問題についての話</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ご飯が炊き上がりました</p> </div> </div>

授業について	記 入 者	片桐 さつき
	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「バイオマス」という言葉を初めて知りました。 ・最初「ロケットストーブ」を見たときは、「こんなもので火がつくのかな」と思っていました。だから本当に火がついてときにはびっくりしました。ロケットストーブはすごい仕組みになっていました。自分でも作ってみたいです。 ・ご飯を食べたらすごく美味しかったです。新鮮でした。もしも災害が起こったときには、家族のリーダーになって災害を乗り越えていきたいです。 ・ナガサキアゲハは暖かいところに住む蝶なのに、松本にもいる理由が分かりました・ ・私たちは化石燃料を無駄にしているなあと思いました。なぜかと言うと3億年かけて作られたものを300年で使ってしまうからです。1年で作ったものを3秒で使っていることになります。バイオマスは1年かけて作ったものを1年かけて使うからいいと思いました。私は、平島さんの話を聞いて、太陽の力を借りたりすればいいなあと思いました。 ・太陽の力でいろいろなことができるということがわかりました。 ・これからは、ものを無駄にしないようにしていこうと思いました。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>自然エネルギーネットまつもとの平島さんと渡辺さん、中信地区環境教育ネットワークの中林さんに、打ち合わせ・準備・当日の指導等、本当にお世話になりました。</p> <p>子どもたちがスムーズに活動できるように下準備をしてくださったり、分かりやすく環境問題や自然エネルギーについて話をしてくださったおかげで、子ども達はとても意欲的に見たり聞いたりしていました。メタルマッチやロケットストーブなど、とても興味津々でした。また、袋にお米と水を入れ密封して鍋に入れておくだけでご飯が炊けることにとても感動していました。環境問題や自然エネルギーについて少し違う角度から触れられるよい機会となりました。</p>	

授 業 名	水の生物の観察会「川の生き物探し」
実施学校名	松本市立田川小学校
実施学年、学級 参加人数	2年1組24名 2年2組24名 計48名
担当者	川上 桂奈 木村 秀子
実施日（期間）	平成29年6月7日（水）
講師名	川の自然と文化研究会（NPO） 松本ホテル学会
実施概要	奈良井川脇の湧水（松島橋北側付近）へ行って、生き物探しをすることを通して、自然の中でいろいろな生き物が生きていることを知り、自然への関心を高める。
実施状況 （授業風景）	 <p>①学校から奈良井川まで歩いて行き、川原で講師の先生方と顔合わせをする。川での学習で注意することを聞く。</p>  <p>②早速、川に入り、タモを使って川の生き物探しをする。気温が少し寒かったが、川に入ることを怖がりたり気持ち悪がりたりする子もいず、みんな喜んで川の中に入っていた。</p>

実施状況
(授業風景)



- ③生き物を捕まえると、子どもたちはすぐに講師の先生のところへ行き、名前を聞いていた。なかなか見つけれない子もいたが、講師の先生に生き物がいるような場所を教えてください、見つけることができました。
- ④捕まえた生き物を持ち帰りたいと言う子もいたが、今回は持ち帰らず自然に返すことにした。
- ⑤あっという間に時間が過ぎてしまい、子どもたちはもっと探したい様子だった。
- ⑥講師の先生方にお礼を行ってから学校に戻った。
教室でどんな生き物がいたが、川の様子はどうだったかななどを自分の言葉でまとめた。

記入者

木村 秀子

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・どこに虫がいっぱいいるかを教えてくださいました。石の下にいっぱいいました。
- ・ヨコエビとかぼくの知らない生き物をたくさん教えてくださいました。すごく楽しかった。
- ・ヨコエビの動きがすばやく横に動いていたからヨコエビって呼ばれているんだと思いました。
- ・虫はいろんな形をしていて、それぞれ動きが違うんだなあと思いました。

2 先生方の感想、要望等

- ・講師の先生方が経験豊富で川に着いても詳しく、安全面配慮やタモやトレーなどの準備をしてくださっていたので、安心して実施ができたことが大変有り難かった。
- ・このような校外学習を2年生でぜひ行いたい。

3 その他

- ・児童はとても楽しかったようで、後日、お家の人と一緒にもう一度訪れて遊んだ子もいた。

<p>授 業 名</p>	<p>平成29年度松塩筑小学校教育課程研究協議会生活科 ～教職員対象・生活科お役立ち演習～</p>
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立四賀小学校</p>
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>松塩筑の小学校41校 教職員65名</p>
<p>担当者</p>	<p>松本市立四賀小学校 教頭 宮本 博</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成29年10月3日（火）</p>
<p>講師名</p>	<p>①自然観察の会ひこばえ（村上さよ子さん） ②特定非営利法人わおん（山田勇さん、山田直美さん） ③信州やがいたいけん楽校ぷらす（降幡光幸さん、朝倉茜さん）</p>
<p>実施概要</p>	<p>①ひこばえ 保福寺川での身近な植物観察 ②わおん フィールドビンゴ、色合わせ、葉っぱさがし ③ぷらす フィールドビンゴ、カムフラージュ、目隠しイモムシ</p>
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<p>①ひこばえ 保福寺川での身近な植物観察（20名）</p>  <p>保福寺川沿いの身近な植物を集めて、名前や特徴についてお話を聞いた。また、外来植物の多さに驚いたり、種の不思議さなどについて体験を通して学んだ。</p> <p>②わおん フィールドビンゴ、色合わせ、葉っぱさがし（27名）</p>  <p>身近な植物に実際に触れながらフィールドビンゴを楽しんだ。また、一番トゲトゲしている葉っぱや一番つるつるしている葉っぱ集めを競ったり、虫眼鏡を使って昆虫や葉っぱを観察した。</p>

<p>実施状況 (授業風景)</p>	<p>③やがいたいけん楽校ふらす 雷神社 (18名)</p>  <p>雷神社周辺の森の中でフィールドビンゴ、カムフラージュ、目隠しイモムシなどを体験した。</p>	
<p>授業について</p>	<p>記入者</p>	<p>宮本 博</p>
<p>【参加された先生方の感想】</p> <p>○神社の周りで楽しく遊びを体験することができました。自然を使った遊びは考え方によっては無限にあると思いました。その地域の特色を生かした遊び方を考えていきたいと思います。</p> <p>○校庭でのフィールドビンゴは、すぐに役立ちそうでありがたかったです。「情報」としてとてもありがたい演習となりました。</p> <p>○フィールドワークは、ぜひ子どもたちにプレゼントしてあげたいと思う内容を教えていただきました。11月初めに予定している秋の遠足でやってみたいと思います。また、チームの先生方と協力して探したりコミュニケーションをとったりすることができたこともよい時間となりました。</p> <p>○すぐに使える活動を教えていただきありがたかったです。春探し、秋探しは、ただ出かけるだけになっていたなと反省です。ちょっとした工夫、小道具があるだけで夢中で自然と触れ合えることがわかり、早速、学校でもやってみたいと思いました。</p> <p>○ネイチャーゲームでは、いつもは見落としている小さな植物をじっと見たり、音を聴いたり、さわったりすることができました。子どもたちとも実践してみたいと思いました。</p> <p>○今まで川遊びに行っても植物にはあまり目を向けてこなかったもので、村上さんのいろいろなお話をお聞きして、遊びに特性があつておもしろいと感じた。</p> <p>○身近なものに目を向けることで、今まで気づかなかったものが教材になるのだと思い、すぐにでも実践してみようという気持ちになりました。大人は頭が固いので、なかなか気づかないものや見つけられないものがあるかと思いますが、子どもたちなら様々なものを見つけられると思います。どんなものを発見してくれるのか楽しみです。</p> <p>○すぐに使えるアイデアと身近なものへの意外さを知ることができた。活用したい。</p>		

授業について

○楽しかったです。とても。小さいものが普段、目もやらないものに近づき、触り、やっているうちにどんどん楽しくなってきました。最近、どんぐりを見ても喜べない自分に、1週間前の遠足にため息が出ましたが、久しぶりに草や虫を見て元気をもらいました。

○自然の森の中での二つのネイチャーゲーム、とても楽しく清々しく感じる時間でした。子どもたちにも是非、この楽しさを味わわせたいなと思いました。

○校庭グループに参加しました。何かひと工夫、小道具があるだけで秋探しが充実したものになると感じました。秋探しをする視点を教師の側が提示してあげる工夫を考えていきたいと思いました。

○川辺の植物探しを子どもたちと同じような気持ちでできて、楽しいひと時だった。よく見る植物も、名前も知らないものばかりだなと思った。食べることできたり、遊べたりする事を知ると、それらが身近に感じられることに気づいた。

○神社の森の中でのアクティビティは、単純だけど面白く、自然について学べる大変有意義な時間でした。子どもたちともやってみたいと思うゲームでした。

○自然なもの不自然なもの意識してみることも、目も頭にも心も使いました。

○川での演習楽しかったです。講師の先生に感謝です。

○とても楽しくフィールドワークに取り組めた。こんな体験を子どもたちにもさせたいと思った。

☆講師コメント☆

松本市小中学校環境教育支援事業を実施した講師の皆さんから、コメントをいただきました。



NPO法人わおん 山田勇

島内小学校2年生に、校庭での自然体感プログラムを実施しました。秋が深まり、いろいろな種類の木が紅葉している中で、じっくりと葉っぱなどを観察する機会となりました。子どもたちは、活動に興味を持ち積極的に楽しんで参加してくれました。ゲーム性があったり、ちょっとした観察道具があったりするだけで、ぐっと活動に入り込むことができました。普段は見過ごしがちな身近な自然に関心を持ち、日々の学校生活で季節の変化などを感じるきっかけになれば嬉しいです。

合同会社リトルピークス 小峰邦良

何よりも！子ども達の笑顔にパワーと無限の可能性を感じた！！

黒川の溪流で岩魚の様に流れを遡る子ども達。梓川の冷たい水に驚きながらも必死に泳ぐ子ども達。犀川の急流に身を委ね大はしゃぎの子ども達。子ども達の表情は僕らが子どもだった頃と同様。純粹で可愛いくて真っすぐで、いつまでも一緒に遊んでいたかった……。

これからも身近な自然を舞台に、子ども達と感動を共有して行きたい。そんな機会を与えてくれた安曇小・田川小、そしてネットワークに感謝の気持ちで一杯です。

自然エネルギーネットまつもと 平島安人

清水小学校4年のクラスで「バイオマスで炊き出し体験」を行いました。生徒がハイゼックス炊飯袋に米と水を詰め、ロケットストーブ2台を使ってパッククッキング。授業後の3時間目には炊きあがったご飯を食べ美味しいと好評だったとのこと。ファイヤースターター（メタルマッチ）を使っての着火は大ウケ、炊飯の待ち時間で地球温暖化やバイオマスの話をしました。青空のもと、歓声と笑顔に包まれた楽しい時間。またやりたいです。

「水ってなあに？」と題して、安曇小学校で地球上を巡る水のお話をさせていただきました。松本市は北アルプスから湧き出る水がふんだんにあり、当たり前のように過ごしていますが、実は、地球規模で水が循環していることがわかると、奇跡に近い水の恵みをいただいていることがわかります。私たちの先祖のおかげで今があり、未来の人たちのために自分たちが何をしなければならぬのかを考えるきっかけになればな～なんて思ってやらせていただきました。

手作り感満載の実験道具で、実験を楽しんでいる子どもたちの笑顔が私たちの励みです。

おうちに帰って、「あの実験装置、おじさんが作ったんだって！すごいね～」なんて言う感想をいただくとおじさんはますます張り切ってしまうんです。

体験することって大切です。文字で勉強するだけでは得られない広がりがあります。

これからも、工夫を凝らした実験装置を作っていきたいと思います。

先生方が、去年は下草が刈りとられていたので、今年はまだ草やつるの残る学習林のフィールドを配慮していただきました。とても寒い日でしたが、子どもたちは学習林の中を元気にかけてまわって自然探しに集中しました。見つからないかとも思っていた木の下のやぶの中の小鳥の巣まで見つけてくれました。その子は昨年1年生の時にバラの花（ヒマラヤスギの松ぼっくり）を見たよと覚えていてくれた子でした。

学習林にはクリやクルミの木が植えられており、地面にいっぱい落ちているクルミも拾ってもらいました。今井という恵まれた自然環境の中で、体験（実績）から学ぶものを生かして、地域の自然を大切に考えながら成長してほしいと思います。



平成29年度
松本市小中学校環境教育支援事業
学習プログラム一覧



平成 29 年度 小中学校環境教育支援事業 講座一覧

No.	分類	講座名称	講師	項
1	自然体験	1 持続可能な自然との共存を皆と一緒に考えるプログラム 2 登山やハイキングの引率	認定 NPO 法人信州まつもと山岳ガイド協会やまたみ	79
2	自然体験	1 自然と触れ合い感性を育てる活動 2 簡単な工作で道具が使えるようになる活動	NPO 法人わおん	80
3	自然体験 環境知識 生活力	1 梓川リバーアドベンチャー 2 地元の山が 100 倍好きになる登山学 3 梓川大好き！大河の一滴プロジェクトスライドショー	合同会社リトルピークス	81
4	自然体験 環境知識	1 ぬかどご飯炊き体験 2 地域発見ウォーキング	NPO 安曇野ふるさとづくり応援団	82
5	自然体験 環境知識	1 いきもの探しと観察 2 プランター菜園講座 3 精米工場の見学と、お米の作り方、流通、循環について学ぶ 4 田んぼの生き物と豊かな農地	いきものみつけファーム in 松本 推進協議会	83
6	自然体験 環境知識	ツキノワグマの生態を知ろう	NPO 法人 信州ツキノワグマ研究会	84
7	自然体験 環境知識	水辺の生物の観察会	川の自然と文化研究所 (NPO)	85
8	環境知識	1 やさしい放射線の実験教室 2 水ってなあに？	株式会社 環境技術センター	86
9	環境知識	1 地球環境問題・地球温暖化問題と自然エネルギーを学ぶ 2 竹筒と蜜蝋を使ったキャンドルづくり 3 小水力発電機による自然エネルギー体験	松本市地球温暖化防止市民ネットワーク (エコネットまつもと)	87
10	環境知識 生活力	1 マイ箸づくり 2 彫刻指導	^{かな} 寿 鮑の会	88
11	生活力	裁縫作業指導 (マイ箸収納袋制作)	松本市ボランティアセンター (松本市社会福祉協議会内)	89
12	環境知識 生活力	1 あかりのエコ教室 2 エコと太陽光発電教室	パナソニック株式会社 エコソリューションズ社 松本電材営業所	90
13	環境知識 生活力	生ごみ処理機を使用した堆肥作り	株式会社 キクイチ	91
14	環境知識 生活力	木の授業とバウムクーヘン作り	寿さと山くらぶ	92
15	環境知識 生活力	木材の活用法	松本市林業士会	93
16	環境知識 生活力	緑のカーテン設置指導	松本市緑化協会	94
17	自然体験 環境知識	1 身近な自然観察 2 水辺の自然観察・まちなかの自然観察 3 外来植物って何？	自然観察の会 ひこばえ	95
18	自然体験 生活力	体感プログラムを中心とした自然体験学習 1	体験創庫かけはし	96
19	自然体験 生活力	体感プログラムを中心とした自然体験学習 2	信州やがいたいけん楽校ぶらす	97
20	生活力	地球温暖化防止と木質バイオマスエネルギー利用方法	自然エネルギーネットまつもと	98
21	自然体験 環境知識	水辺の観察会	特定非営利活動法人 えんどっこ	99
22	環境知識 生活力	リサイクル・リユースについてのワークショップ	フリマネット信州	100
23	自然体験 環境知識	ビオトープ生物観察	松本ホテル ^{まなび} 学会	101
24	環境知識	まつもとの環境について学ぼう 「松本市環境基本計画関連講座」	松本市環境政策課・環境保全課	102

学習プログラム 教科・領域との関連について

○ 講座ごとに、教科、領域を関連づけました。

ご要望に応じ対応可能ですので、あくまで参考としてください。

No.	講座名	関連する主な教科・領域							
		社会	理科	技術	家庭	生活	図画工作 美術	総合	特別活動
1	1持続可能な自然との共存を皆と一緒に考えるプログラム 2登山やハイキングの引率	○	○			○		○	○
2	1自然と触れ合い感性を育てる活動 2簡単な工作で道具が使えるようになる活動		○			○	○	○	○
3	1梓川リバーウォーキング 2地元の山が100倍好きになる登山学 3梓川大好き！大河の一滴プロジェクトスライドショー	○	○			○		○	○
4	1ぬかどご飯炊き体験 2地域発見ウォーキング	○			○			○	○
5	1いさみの探しと観察 2プランター菜園講座 3精米工場の見学と、お米の作り方、流通、循環について学ぶ 4田んぼの生き物と豊かな農地	○	○					○	○
6	ツキノワグマの生態を知ろう	○	○			○		○	○
7	水の生物の観察会		○					○	○
8	1やさしい放射線の実験教室 2水ってなあに？	○	○			○		○	○
9	1地球環境問題・地球環境温暖化問題と自然エネルギーを学ぶ 2 竹筒と蜜蝋を使ったキャンドルづくり 3 小水力発電機による自然エネルギー体験	○	○				○	○	○
10	1マイ箸づくり 2彫刻指導			○		○	○	○	○
11	裁縫作業指導(マイ箸収納袋制作)				○	○		○	○
12	1あかりのエコ教室 2エコと太陽光発電教室	○	○		○			○	○
13	生ごみ処理機を使用した堆肥作り	○	○		○			○	○
14	木の授業とバウムクーヘン作り		○					○	○
15	緑のカーテン設置事業	○	○			○		○	○
16	1端材の工作 2積み木で遊ぼう	○				○	○	○	○
17	自然観察からはじまる自然保護の実践	○	○			○		○	○
18	体感プログラムを中心とした自然体験学習1	○	○			○		○	○
19	体感プログラムを中心とした自然体験学習2		○		○	○		○	○
20	地球温暖化防止と木質バイオマスエネルギー利用方法	○						○	○
21	水辺の観察会		○			○		○	○
22	リサイクル・リユースについてのワークショップ	○			○			○	○
23	ビオトープ生物観察		○			○		○	○
24	まつもとの環境について学ぼう 「松本市環境基本企画関連講座」	○	○		○	○		○	○

- 講師の選定、講座内容の作成に際して、一般社団法人長野県環境保全協会中信支部、松本商工会議所及び市民団体等の協力をいただいています。
- また、支援事業のコーディネートについて、中信地区環境教育ネットワークの協力をいただいています。

【分類：自然体験】

講座名称	1 持続可能な自然との共存を皆と一緒に考えるプログラム 2 登山やハイキングなどの引率 (講座 No. 1)
支援事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ こども自然体験教室 ・ 自然観察会（自然全般・植物・野鳥・昆虫など） ・ 野生生物や生物多様性に関する学習 ・ 自然観察会、自然体験の指導 <p>美ヶ原、上高地、乗鞍高原、松本市アルプス公園など中信地区全域。（日程が合えば三城キャンプも対応可）</p> <p>プロジェクト・ワイルドのエデュケーター資格者が、学校の希望テーマに沿ったプログラムを提供します。学校でテーマを決めていない場合は、「温暖化」「鹿の食害」など、現地の実態に即したテーマでプログラムを提供します。</p> <p>雨天の場合は屋内でプログラムを提供します。</p> 
対象学年（年齢）	小学生以上、学年に応じた授業内容を相談しながら内容決定
時間数	2 時間程度～1 日（宿泊があってもよい）
講師人数	子ども 15 人に対して講師 1 名 フィールドで行う場合は、子ども 10 人に対して講師 1～2 名
費用	講師謝礼 講師 1 名に 5,000 円（授業 1 回分毎）
必要な準備	文具（筆記用具・模造紙・A 4 用紙・プロッキーなど）
講師からの持込機材等	プログラムに必要とする資材等
講師連絡先	認定 NPO 法人信州まつもと山岳ガイド協会 やまたみ TEL 0263-34-1543 E-mail info@yamatami.com 担当 石塚聡実 http://yamatami.com/
講師について	2005 年に設立された、長野県の山岳地帯を主たる活動場所とする NPO 法人です。登山ガイド・自然ガイドの資格者を軸に構成されています。信州の豊かな自然から人間と自然が共存する機能を理解し、そのあり方を考える事を目的としています。
開催実績	平成 27 年度 開智小学校 鹿と環境との関わりについて学ぶワークショップ 松本市環境教育事業（エコスクール）講師 その他学校登山、上高地学習など多数
申込み（直接申込可能）	直接講師（上記連絡先）にお申込みいただくことも可能です。申込書により講師への連絡を希望された場合は、支援事業のコーディネーターを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。（実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います。）
問合せ	上記連絡先にお問合せください。

【分類：自然体験】

講座名称	1 自然と触れ合い感性を育てる活動 2 簡単な工作で道具が使えるようになる活動 (講座 No. 2)
支援事業内容	<p>1 学校の校庭などの身近な自然で、自然と触れ合い感性を育てる活動</p> <p>2 自然の素材で作る簡単な工作で、道具が使えるようになる活動</p> <p>講師を派遣し学校近隣（校内を含む）で行う学習支援。事前打ち合わせの中で、活動内容や狙いを確認。学校の希望に合わせたプログラムとする。（野外の活動を希望する場所があれば、そこで実施可能）</p> 
対象学年（年齢）	3歳～大人まで
時間数	1～2時間程度 （希望時間に応じたプログラムを実施することもできます。）
講師人数	児童・生徒 20人に対して1人の講師 （安全確保の観点から、最低2名での実施を希望します。）
費用	講師謝礼 1人につき 5,000円（授業1回分毎） クラフトを実施する場合は、材料費（ひとり 100円～200円程度）
必要な準備	申込時・事前の打合せを通じて別途相談
講師からの持込資材等	プログラムに使用する備品、工具など
講師連絡先	NPO 法人わおん TEL 0263-87-3005 E-mail waon@ac.auone-net.jp 担当 山田直美 http://waon.naganoblog.jp/
講師について	塩尻市を拠点に、自然体験活動を実施している団体です。 小学生を対象にした年間の自然体験活動や、保育園、児童館などへの出前講座を行っています。
開催実績	平成 28 年度 田川小学校 学校の近くの田川でネイチャーゲームなどの自然体験活動
申込み（直接申込可能）	直接講師（上記連絡先）にお申込みいただくことも可能です。 申込書により講師への連絡を希望された場合は、支援事業のコーディネートをを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。（実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います。）
問合せ	上記連絡先にお問合せください。

【分類：自然体験、環境知識、生活力】

講座名称	1 梓川リバーアドベンチャー 2 地元の山が100倍好きになる登山学 3 梓川大好き！大河の一滴プロジェクトスライドショー（講座 No.3）
支援事業内容	1 梓川リバーアドベンチャー(川離れ防止大作戦！川の安全講習会付) 梓川の伏流水を歩き、泳ぎ、渡り、時にはライフジェットでプカプカ～目指すは大河犀川！ 2 地元の山が100倍好きになる登山学(山歩きから学ぶ生きる力) メインフィールドは乗鞍岳、常念・蝶ヶ岳、鉢盛山。普段学校から見える地元の山を楽しみながら山歩き。児童&生徒主体の登山計画からお手伝いいたします。 3 地元梓川領域をより理解し、身近に感じてもらう座学（スライドショー）。これをきっかけに、実際の川&山に活動の幅を広げてみては如何でしょうか？ *場所は変動有。学校の近くの川にてアレンジ可能
対象学年（年齢）	小学校1年生より大人まで（プログラムによる）
時間数	最短1時間～泊まり込みプログラムまで対応可能
講師人数	プログラム1 …子ども10人に対し、1人の指導者 プログラム2 …子ども15人に対し、1人の指導者 *いずれもプログラム内容、フィールドにより変動あり
費用	講師謝礼 講師1名に5,000円（授業1回分毎） 保険料(34円～)、レンタル器材等（100円～）、プログラムによる
必要な準備	申込時、事前の打合せを通じて別途相談
講師連絡先	合同会社リトルピークス TEL 0263-93-1243 携帯 090-3561-5351 E-mail mine@littlepeaks.jp 担当 小峰邦良 http:只今準備中（メールでお問い合わせください！）
講師について	2014年12月に松本市安曇に産声を上げたアウトドアガイド&ツアー会社。登山ガイド、沢登り、ラフティング、スノーシューなどのアクティビティーを中心に、各種安全講習会、子ども冒険キャンプ、クリーンアップ梓川などの地域貢献活動などと、松本の大自然を春夏秋冬365日全身で感じられるプログラムを展開中。ガイド&ツアーコンセプトは「風流であれ！アナログであれ！！」。松本を愛する個性豊かなメンバーでお待ちしております。
開催実績	平成28年度 波田小学校 ・梓川リバーアドベンチャー ①川の安全講習 ②川に飛び込もう！ ③レスキュー体験 ④ぶかぶか川の流れにのってみよう！ ⑤浅瀬横断 ⑥リバースイム ⑦梓川の生き物観察
申込み（直接申込可能）	直接講師（上記連絡先）にお申込みいただくことも可能です。 申込書により講師への連絡を希望された場合は、支援事業のコーディネーターを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。（実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います。）
問合せ	上記連絡先にお問合せください。

【分類：自然体験、環境知識】

講座名称	1 むかくどご飯炊き体験 2 地域発見ウォーキング (講座 No. 4)
支援事業内容	1 むかくどご飯炊き体験 昔ながらの「むかくど釜」でご飯を炊き、美味しいお米を味わっていただけます。「むかくど釜」は、昭和初期に農家で使用されていた「ぬか」＝「もみ殻」を使った釜で、紙芝居にて概要を説明します。 ※3釜持参可能（おにぎり約70個/釜） 2 地域発見ウォーキング 安曇野市内の屋敷林、拾ヶ堰、道祖神等の原風景が残る地域を、クイズ等を楽しみながら案内します。
対象学年（年齢）	小学校3年生以上
時間数	2時間程度
講師人数	子ども30人に対し2人の講師
費用	講師謝礼 講師1名に5,000円（授業1回分） その他 お米代、資料代等 必要
必要な準備	申込時・事前の打合せを通じて別途相談
講師連絡先	NPO 法人安曇野ふるさとづくり応援団 TEL 0263-81-1325 E-mail lifeport@nifty.com 担当 宮崎崇徳 http://azumino-furusato.com/
講師について	Iターン者と地域住民との交流による新しいふるさとづくりを目指して、平成18年に設立したNPO法人です。平成19年度から自然、歴史、文化を学びながら歩く「ふるさとウォッチング」「安曇野さんぽ」を年10回程度開催し、過去のルート図を「ふるさとウォッチングマップ」としてまとめ、公式サイトで公開しています。また、平成27年度に地域ガイド育成講座「案内人の教室」をスタートし、県や国営公園と連携して人材育成に取り組んでいます。
開催実績	むかくどご飯炊き体験 平成27年度 会田中学校・二子小学校 平成28年度 会田中学校・二子小学校
申込み (直接申込不可)	申込書を学校指導課の担当（教育文化センター）に提出してください。申込書の提出を受けて、支援事業のコーディネートをを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。 （実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います）
問合せ	学校名、担当の先生の名前、内容等を書いて、中信地区環境教育ネットワーク事務局までメール（ ecoconet@gominetnagano.jp ）でお問い合わせください。2～3日中に電話またはメールでご連絡します。 （夕方5時以降）

【分類：自然体験、環境知識】

講座名称	<p>1 いきもの探しと観察 2 プランター菜園講座 3 精米工場の見学と、お米の作り方、流通、循環について学ぶ 4 田んぼの生き物と豊かな農地 (講座 No. 5)</p>
支援事業内容	<p>年間を通じてお米の肌ヌカ（米の精）を使用した農法の実演と体験により、土壌を豊かにする健康な作物づくりと生きものあふれる農地づくりを行い、その場所を環境学習に使用しています。</p> <p>作物を育てるもの、生き物を観察する活動は5月～9月が活動時期の目安です。精米工場の見学は年中できます。</p> 
対象学年（年齢）	小学校3年生以上
時間数	90分（相談に応じて対応可能）
講師人数	1、3、4は子ども30人に対し2人の講師 2は、子ども30人に対し1人の講師
費用	講師謝礼 講師1名に5,000円（授業1回分毎） 2は、プランター、苗代、肥料代等別途実費がかかります。
必要な準備	申込時・事前の打合せを通じて別途相談
講師からの持込資材等	米の精（肥料） 簡単な循環型農業に関する資料
講師連絡先	いきものみつけファーム in 松本推進協議会 TEL 0263-92-1508 E-mail ts_kakehashi@yahoo.co.jp 担当 藤村 http://www.ikimonomikke-farm.com/
講師について	環境を保全しつつ、有機循環型農業を地域で実現するために発足した、産・官・学・民協働の環境教育協議会です。お米の肌ヌカ（米の精）を使用した農法により土壌を豊かにし健康な作物づくりと生きものあふれる農地づくりを行い、その場所を環境学習に使用しています。
開催実績	平成28年度 いきものみつけファーム in 松本 （寿地区の田んぼで通年開催、市内全域から参加あり） 菅野小学校 下記3テーマで生き物探しと観察を行った。 ①ネイチャーゲーム ②水辺の生き物 ③草むらの生き物
申込み（直接申込可能）	直接講師（上記連絡先）にお申込みいただくことも可能です。 申込書により講師への連絡を希望された場合は、支援事業のコーディネーターを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。（実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います。）
問合せ	上記連絡先にお問合せください。

【分類：自然体験、環境知識】

講座名称	ツキノワグマの生態を知ろう	(講座 No. 6)
支援事業内容	<p>講師を派遣し学校近隣（校内を含む）で行う学習支援</p> <p>パワーポイントを用いた講義（クマの生態、出会った時の対処法等）</p>	
対象学年（年齢）	全学年可	
時間数	1コマ（45分～90分）	
講師人数	子ども 100人に対して2人の講師	
費用	講師謝礼 講師1名に5,000円（授業1回分毎）	
必要な準備	<ul style="list-style-type: none"> ・スクリーン ・プロジェクター（できれば） 	
講師からのからの持込資材等	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン ・トランクキット（クマの毛皮、頭骨等）、クマの着ぐるみ 	
講師連絡先	<p>NPO 法人 信州ツキノワグマ研究会 〒 390-0876 松本市開智 2-9-8 TEL 0263-36-1884 E-mail:kumaken.shinshu@yahoo.co.jp 担当 浜口あかり http://www.geocities.jp/shinshukumaken/</p>	
講師について	ツキノワグマの生態研究および保護管理の活動を通し、“ツキノワグマ”とその生息環境の保護保全を図り、野生動物と人間の共存を実現する。	
開催実績	<p>平成27年度 安曇小中学校 ツキノワグマの生態を知ろう</p> <p>平成28年度 奈川小学校 ツキノワグマの生態を知ろう</p>	
申込み（直接申込可能）	直接講師（上記連絡先）にお申込みいただくことも可能です。申込書により講師への連絡を希望された場合は、支援事業のコーディネートをを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。（実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います。）	
問合せ	上記連絡先にお問合せください。	

【分類：自然体験、環境知識】

講座名称	水辺の生物の観察会 (講座 No. 7)
支援事業内容	<p>水辺の生物の観察会 水路・ビオトープ・学校プールなどにおける水生生物や植物の観察会を行います。</p> <p>【これまでに実施した学習会のテーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本人の川と水への意識 ・アルプスの水がもたらす恵みと課題 ・里地・里山の森と暮らしと水 ・千曲川水系における水生昆虫類の個体群構造と遺伝的構造 ・松本、伊那盆地におけるトノサマガエル・ダルマガエルの分布と交雑について ・河川繁殖する鳥類への増水の影響と役割 ・トンボ類からみた日本と台湾の繋がり ・父親が子育てをするコオイムシ科昆虫の繁殖生態と系統進化・種分化について ・安曇野の魚と人とのかかわり 
対象学年（年齢）	小学校3年生以上（学年に合わせた授業を行います）
講師人数	子ども30人に講師1～2名
費用	講師謝礼 講師1名に5,000円（授業1回分毎） 材料費 開催内容による（事前の相談で決定）
必要な準備 学校で準備するもの	網、内面が白色のプラスチック皿、ピンセット 虫めがね（10～20倍）、バケツ、ノート（スケッチ用紙）
講師 連絡先	川の自然と文化研究所（NPO） TEL 0263-72-3768 E-mail tyoshid2002@yahoo.co.jp 担当 吉田利男
講師について	身近な川を調べ、地域文化との関係や生き物のすみかとして成り立ちを考え、今後の川の姿に関して提言するNPO法人です。
開催実績	平成27年度 平成28年度 田川小学校 ①奈良井川脇の湧水に行き、水中生物を探す。 ②学校に戻り、捕まえた水中生物をルーペ等で観察する。 ③水中生物の記録の書き方を講師から習い、絵と文で記録する。 平成28年度 信州大学教育学部附属松本小学校 年間を通して定期的に女鳥羽川を散策してきた子どもたちが、講師の先生から川の生物の解説を聞いたり、川の生物の見つけ方を教わったりする事を通して、女鳥羽川への関心を更に高めた。
申込み （直接申込不可）	直接講師（上記連絡先）にお申込みいただくことも可能です。 申込書により講師への連絡を希望された場合は、支援事業のコーディネートをを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。（実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います。）
問合せ	上記連絡先にお問合せください。

【分類：環境知識】

講座名称	1 やさしい放射線の実験教室 2 水ってなあに？ (講座 No. 8)
支援事業内容	1 やさしい放射線の実験教室 放射線は自然に存在し、正しい管理のもとで利用されることで人の役に立つこと、また、原子力発電所事故を受けて、これからのエネルギーについて考えるきっかけになればと思います。普段目に見えない放射線の飛んだ軌跡を簡単に観察でき、簡単な測定器を使って外の放射線量やその場の放射線量を測定します。 2 水ってなあに？（水の性質と循環を学ぼう） 水が固体、液体、気体に変わること、海や川の水が蒸発して雲になり、雨となって地上に落ちてきてまた海に流れるという循環が、地球が誕生して何億年も前から繰り返され、これからも続いていくはず。だから、未来の人たちのためにも大切に、汚さないように使わなければならないことを実感できたらと思います。 また、4種類の水を用意して、きき水を体験してもらいます。日本の水とヨーロッパの水の味の違いを体験して、どうしてこの味の違いが出るのかを試験します。
対象学年（年齢）	小学校1年生～中学3年生まで学年に合わせて
時間数	2時間（ご相談ください）
講師人数	子ども40人に対し、講師2名
費用	講師謝礼 1人につき5,000円（授業1回分毎）
必要な準備	2 500mlのペットボトルを一人1本用意
講師からの持込資材等	1 やさしい放射線実験教室 放射線の軌跡観察の機材（タッパー、ランタンマンテル、エチルアルコール等）、放射線量測定器 2 水ってなあに？ 水の循環模型、ドライアイス、硬度試験キッド、水の汚れ試験キッド
講師連絡先	株式会社 環境技術センター TEL 0263-27-1606 E-mail miyazawa.m@kgcenter.co.jp 担当 宮澤恵美 http://www.kgc-minnanolab.com/
講師について	松本市内で40年間、環境分析を行ってきている会社です。環境問題がクローズアップされる昨今、理科実験と環境問題を組み合わせて、難しくとらえられがちな化学物質などを、わかりやすく解説したいと考えています。
開催実績	平成27年度 会田中学校 やさしい放射線実験教室 波田小学校 水ってなあに？（水の性質と循環を学ぼう） 平成28年度 田川小学校 水ってなあに？
申込み（直接申込可能）	直接講師（上記連絡先）にお申込みいただくことも可能です。 申込書により講師への連絡を希望された場合は、支援事業のコーディネーターを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。（実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います。）
問合せ	上記連絡先にお問合せください。



【分類：環境知識】

<p>講座名称</p>	<p>1 地球環境問題・地球温暖化問題と自然エネルギーを学ぶ 2 竹筒と蜜蝋を使ったキャンドルづくり 3 小水力発電機による自然エネルギー体験 (講座 No. 9)</p>
<p>支援事業内容</p>	<p>1 気象予報士が、宇宙や歴史から見た地球環境や気候変動（地球温暖化）をとおして、身近な環境問題（自然災害と防災・省エネ・ごみ・食料問題・自然エネルギー等）についてお話しするほか、自然エネルギー機器等や教材を使いわかりやすく伝えます。</p> <p>2 竹筒を自分たちで加工して装飾し、蜜蝋を使ったキャンドルを作ります。キャンドルは地球温暖化防止を啓発するキャンドルナイトイベント（6月：松本市美術館、12月：松本駅前）で大々的に飾り、イベントに華を添えていただきます。</p> <p>3 可搬式の小水力発電機を使って、実際の水力発電の仕組みを体験して学ぶほか、ソーラーカー、発電自転車体験を行います。</p> 
<p>対象学年（年齢）</p>	<p>小学校高学年～中学生</p>
<p>時間数</p>	<p>1 要相談 2 2～3時間程度 3 1時間程度</p>
<p>講師人数</p>	<p>子ども 10 人に講師 1～2 名</p>
<p>費用</p>	<p>講師謝礼 講師 1 名に 5,000 円（授業 1 回分毎） 材料費 （開催内容による）</p>
<p>必要な準備</p>	<p>1 プロジェクター、スクリーン 2 実施場所として工作室 3 校内の流水（落差）がある箇所</p>
<p>講師からの持込資材等</p>	<p>1 パソコンなど 2 電動ドリル、鋸、ホットボンド等の工具類 3 可搬式小水力発電機、ソーラーカー、発電自転車</p>
<p>講師連絡先</p>	<p>松本市地球温暖化防止市民ネットワーク（エコネットまつもと） TEL・FAX 0263-57-5460 担当 鈴木喜一郎</p>
<p>講師について</p>	<p>市内 13 団体が構成するネットワークです。それぞれの環境保全活動の持ち味を活かし、「キャンドルナイトまつもと（6月、12月）」「打ち水大作戦（8月）」等の活動を行っています。</p>
<p>開催実績</p>	<p>平成 27 年度 会田中学校 竹筒と蜜蝋を使ったキャンドルづくり 平成 28 年度 鎌田小学校 竹筒と蜜蝋を使ったキャンドルづくり キャンドルづくりワークショップ、自然エネルギー講座等</p>
<p>申込み（直接申込可能）</p>	<p>直接講師（上記連絡先）にお申込みいただくことも可能です。 申込書により講師への連絡を希望された場合は、支援事業のコーディネートをを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。（実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います。）</p>
<p>問合せ</p>	<p>上記連絡先にお問合せください。</p>

【分類：環境知識、生活力】

講座名称	1 マイ箸づくり 2 彫刻指導 (講座 No. 1 0)
支援事業内容	1 自分で鉋やノコギリを使ってヒノキの端材から自分だけの箸を作ります。材木に関する基本的な知識についても学習し、物を大切にする気持を養います。 2 刃物の安全な使い方を学びます。 
対象学年（年齢）	小学校高学年～ 低学年では、参観日など親子での実施例あり。（小学校1年生） その他学年に応じた授業内容を相談しながら決めます。
時間数	2時間～3時間必要
講師人数	子ども10人に対して講師1名
費用	講師謝礼 講師1名に5,000円（授業1回分毎） 材料代 1人300円
必要な準備	その他、申込時・事前の打合せを通じて別途相談 作業に適した会場（工作室等）
講師からの持込資材等	工作台（机上に設置）、肥後ナイフ、鉋
講師連絡先	寿鉋の会 TEL 090-1828-5282 鬼頭朝雄
講師について	毎週土曜日にシルバー人材センターのショップにて刃物の研ぎや日曜大工などを行っています。長年にわたり家具作りなどに携わっていた職人たちが講師を務めています。
開催実績	平成27年度 会田中学校・梓川小学校・信州大学教育学部附属松本小学校 平成28年度 会田中学校・鎌田小学校 マイ箸づくり、箸袋縫い
申込み（直接申込不可）	申込書を教育指導課の担当（教育文化センター）に提出してください。 申込書の提出を受けて、支援事業のコーディネートを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。 （実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います。）
問合せ	学校名、担当の先生の名前、内容等を書いて、中信地区環境教育ネットワーク事務局までメール（ ecoconet@gominetnagano.jp ）でお問い合わせください。2～3日中に電話またはメールでご連絡します。 （夕方5時以降）

【分類：生活力】

講座名称	裁縫作業指導（マイ箸収納用袋の制作） （講座 No. 1 1）
支援事業内容	<p>マイ箸収納用袋の制作指導 マイ箸づくりで作った箸を収納するための袋を自作する際の指導講習を行います。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
対象学年（年齢）	小学校1年生以上
時間数	2時間程度必要
講師人数	子ども10人に講師1名
費用	講師謝礼 講師1名に5,000円（授業1回分毎） 材料費 制作内容によるため別途相談
必要な準備	裁縫セット、布等の材料
講師からの持込資材等	布等の材料
講師連絡先	松本市ボランティアセンター（松本市社会福祉協議会内） TEL 0263-25-7345 E-mail vol@syakyo.matsumoto.or.jp 担当 高山
講師について	市内の地域ボランティア部会メンバーが、箸袋を自作する際の指導を行います。
開催実績	平成27年度 島立小学校・信州大学教育学部附属松本小学校 平成28年度 鎌田小学校
申込み（直接申込不可）	申込書を学校指導課の担当（教育文化センター）に提出してください。申込書の提出を受けて、支援事業のコーディネートを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。（実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います。）
問合せ	学校名、担当の先生の名前、内容等を書いて、中信地区環境教育ネットワーク事務局までメール（ecoconet@gominetnagano.jp）でお問い合わせください。2～3日中に電話またはメールでご連絡します。（夕方5時以降）

【分類：環境知識、生活力】

講座名称	1 あかりのエコ教室 2 エコと太陽光発電教室 (講座 No. 1 2)
支援事業内容	<p>地球温暖化による環境変化、地球温暖化防止に効果のある家電製品の省エネルギー化等について学習します。</p> <p>1 あかりのエコ教室 従来の白熱電球、電球型蛍光灯、LED電球の比較と実験を通じて違いを知る。省エネの効果の内容について学習する。</p> <p>2 エコと太陽光発電教室 一般的な発電方法と再生エネルギーの中で、太陽光を利用した発電方法の実験を通じ、太陽電池の性質の内容について学習する。</p>
対象学年（年齢）	小学校4年生以上
時間数	2時限
講師人数	子ども40人に講師3名
費用	無料
必要な準備	スクリーンもしくはモニターTV プロジェクター
講師からの持込資材等	・実験道具（4～5人で1台） ※あかりのエコ教室では測定機器、手回し発電機
講師連絡先	パナソニック(株)エコソリューションズ社 松本電材営業所 TEL 0263-27-4501 ホームページ http://panasonic.co.jp/es/
開催実績	平成23年 清水小学校6年、会田中学校1年 平成25年 会田中学校1年 平成27年 波田小学校6年 平成28年 安曇小学校5・6年 「あかりのエコ教室」
申込み (直接申込可能)	直接講師（上記連絡先）にお申込みいただくことも可能です。 申込書により講師への連絡を希望された場合は、支援事業のコーディネートをを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。（実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います。）
問合せ	上記連絡先にお問合せください。



【分類：環境知識、生活力】

講座名称	生ごみ処理機を使用した堆肥作り (講座 No. 1 3)
支援事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ処理機を使用した堆肥作りの講師を派遣し、指導等を行い、資源循環やバイオ（微生物の働き）について学んでいただきます。小型の生ごみ処理機をクラス単位・学年単位で貸し出すことが可能です。 ・処理機の使用方法や堆肥ができるまでの指導支援を行います。 ・完成した堆肥の使い方も指導します。 (1 サイクル概ね3カ月で、できた1次堆肥を回収し、当社で2次堆肥に発酵させるため、臭いはあまり発生しません。県内の学校、保育園でも使用されています。)  
対象学年（年齢）	小学校高学年以上
時間数	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみを投入する回の授業として、60～90分程度 ・その後、機械で堆肥にする期間＝約3ヶ月、キクイチで熟成堆肥にする期間＝約1ヶ月の合計4ヶ月で1サイクル
講師人数	機械1台あたり児童約40人（講師1名）
必要な費用	15,000円（材料費、機器管理、講師料込）
必要な準備	申込時・事前の打合せを通じて別途相談 実施時には生ごみ（野菜くず等）が必要
講師からの持込資材等	事前に生ごみ処理機を設置します (幅150cm×高120cm 要AC100V電源)
講師連絡先	株式会社キクイチ TEL 0263-92-5141 E-Mail kikuichi@go.tvm.ne.jp 担当 百瀬潔
開催実績	平成27年度 中山小学校 平成28年度 中山小学校 「生ごみ処理機を利用した堆肥作り」
申込み (直接申込不可)	申込書を教育指導課の担当(教育文化センター)に提出してください。 申込書の提出を受けて、支援事業のコーディネートを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。 (実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います)
問合せ	学校名、担当の先生の名前、内容等を書いて、中信地区環境教育ネットワーク事務局までメール (ecoeconet@gominetnagano.jp) でお問い合わせください。2～3日中に電話またはメールでご連絡します。 (夕方5時以降)

【分類：環境知識、生活力】

講座名称	木の授業とバウムクーヘン作り (講座 No.14)
支援事業内容	<p>竹や廃材などを活用して行う野外活動です。 木の年輪などの話をしてから、炭火を使って材料からバウムクーヘンを作ります。</p> 
対象学年(年齢)	小学校4年生以上
時間数	2時間程度
講師人数	子ども15人位に講師1名
費用	講師謝礼 講師1名に5,000円(授業1回分毎) 材料費 4,000円/約10人分
必要な準備	長机数台
講師からの持込資材等	レシピ等の資料、竹の棒などの資材、材料一式
講師連絡先	寿さと山くらぶ TEL・FAX 0263-57-5460 担当 鈴木喜一郎
講師について	平成13年に設立し、寿地区の財産区有林の整備作業と地域の学校での環境教育などを実施しています。昨年度の会員数65名。
開催実績	平成27年度 波田小学校・二子小学校・会田中学校 木の授業とバウムクーヘン作り 会田中学校 森林整備指導 平成28年度 鎌田小学校・二子小学校 木の授業とバウムクーヘンづくり 島立小学校 木の授業と鉛筆立て制作
申込み (直接申込不可)	申込書を学校指導課の担当(教育文化センター)に提出してください。 申込書の提出を受けて、支援事業のコーディネートを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。 (実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います)
問合せ	学校名、担当の先生の名前、内容等を書いて、中信地区環境教育ネットワーク事務局までメール(ecoeconet@gominetnagano.jp)でお問い合わせください。2～3日中に電話またはメールでご連絡します。 (夕方5時以降)

【分類：環境知識、生活力】

講座名称	木材の活用法 (講座 No.15)
支援事業内容	<p>間伐による里山の保全、間伐材の活用について学習しながら、木工工作を行います。木の持つ魅力や種類の違いなどを五感で感じて、自ら創造する活動です。 また、山林での森林整備体験なども行います（応相談）</p> 
対象学年（年齢）	小学校4年生以上
時間数	2時間程度
講師人数	子ども6～8人に講師1名
費用	講師謝礼 講師1名に5,000円（授業1回分毎） 材料費 開催内容による（事前の相談で決定）
必要な準備	木工教室の場合、木工室等の会場
講師からの持込資材等	木工に必要な木材と機材一式
講師連絡先	松本市林業士会 TEL・FAX 0263-57-5460 担当 鈴木喜一郎
講師について	松本市内の現役林業士約20名で組織しています。それぞれが木と森のスペシャリストとして、市内各行事、地域イベント等にも参加しています。
開催実績	平成27年度 鎌田小学校 平成28年度 会田中学校・菅野小学校・二子小学校 木についての学習、木工作品の作成
申込み (直接申込不可)	申込書を学校指導課の担当(教育文化センター)に提出してください。 申込書の提出を受けて、支援事業のコーディネートを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。 (実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います)
問合せ	学校名、担当の先生の名前、内容等を書いて、中信地区環境教育ネットワーク事務局までメール（ecoconet@gominetnagano.jp）でお問い合わせください。2～3日中に電話またはメールでご連絡します。 (夕方5時以降)

【分類：自然体験、環境知識】

講座名称	緑のカーテン設置指導 (講座 No.16)
支援事業内容	<p>低学年…紙芝居又はパワーポイントでカーテン設置の意味や効果、種の植え方、後の管理方法を解説します。(1時限) 高学年、中学生…希望によりますが、パワーポイントで地球温暖化の現状や将来を解説し、問題の意識付けをします。そのうえで、緑のカーテンの効用や維持管理の方法を解説します。</p> 
対象学年(年齢)	小学校以上(学年に合わせた授業を行います)
時間数	小学校低学年=1時限、小学校高学年以上=2時限(応相談)
講師人数	子ども120人に講師1名
費用	<p>講師謝礼 講師1名に5,000円(授業1回分毎) ※学年全体で同一日時を実施する場合、学級数分の合計を負担していただきます。 例：1学年全体の3学級で実施→@5000円×3学級分=15,000円</p>
必要な準備	<p>設置場所の確保 // の耕し、施肥 ※可能な限り地植えを推奨します。 プランターでは生育不足となり、期待する効果が得られません。 ※夏休み前までの生育を促すために、5月中の実施を推奨します。</p>
講師からの持込資材等	<p>・種子、苗 ・紙芝居、パワーポイントによる温暖化防止学習資料 ・ネット、竹枠 ※ ネット張り作業は事前に行います(別日程で行います)</p>
講師連絡先	<p>松本市緑化協会 TEL 0263-48-3100 E-mail oku-zou@avis.ne.jp (株)奥原造園 奥原正司</p>
講師について	松本市内で造園業を営む17業者の集まりです。緑化工事・維持管理を中心に、地域の環境保全を目指しています
開催実績	緑のカーテン設置補助 26年度=12校、27年度=12校、28年度=10校
申込み(直接申込可能)	<p>直接講師(上記連絡先)にお申込みいただくことも可能です。 申込書により講師への連絡を希望された場合は、支援事業のコーディネーターを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。(実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います。)</p>
問合せ	上記連絡先にお問合せください。

【分類：自然体験、環境知識】

<p>講座名称</p>	<p>1 身近な自然観察（四季折々を楽しみながら） 2 水辺（小川）の自然観察・まちなかの自然観察 3 外来植物（外来生物）って何？ (講座 No. 1 7)</p>
<p>支援事業内容</p>	<p>自然の楽しみ方、自然と人や動物と植物のつながりなど、自然保護や環境保全の考え方を学年に応じ、自然観察から学びとります。 必要に応じて、フィールドに出る前あるいは後に、教室内でのレクチャーを希望される場合は対応いたします。別の日程で組んでいただくことも可能です。</p> 
<p>対象学年（年齢）</p>	<p>小学生以上、学年に応じた授業内容を相談しながら内容決定</p>
<p>時間数</p>	<p>1 回で 2 時間程度必要</p>
<p>講師人数</p>	<p>子ども 15 人に対して講師 1 名（先生と協力して 1 クラス程度まで）</p>
<p>費用</p>	<p>講師謝礼 講師 1 名に 5,000 円（授業 1 回分毎）</p>
<p>必要な準備</p>	<p>申込時・事前の打合せを通じて別途相談</p>
<p>講師連絡先</p>	<p>自然観察の会 ひこばえ TEL・FAX 0263-26-1573 担当 村上さよ子</p>
<p>講師について</p>	<p>1996 年、自然を学び環境を考える仲間と会をつくる。「自然観察から始まる自然保護」を目ざして、自然観察会やボランティア活動などを実践。自然と人、動物、植物などのつながりや気付きから、自然保護、環境保全へと展開する環境学習を、大人や子どもと共に学び合っている</p>
<p>開催実績</p>	<p>平成 27 年度 今井小学校 自然観察からはじまる自然保護の実践 平成 28 年度 今井小学校 身近な自然観察</p>
<p>申込み (直接申込不可)</p>	<p>申込書を学校指導課の担当(教育文化センター)に提出してください。申込書の提出を受けて、支援事業のコーディネートをを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。 (実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います。)</p>
<p>問合せ</p>	<p>学校名、担当の先生の名前、内容等を書いて、中信地区環境教育ネットワーク事務局までメール (ecoeconet@gominetnagano.jp) でお問い合わせください。2～3 日中に電話またはメールでご連絡します。 (夕方 5 時以降)</p>

【分類：自然体験、生活力】

講座名称	体感プログラムを中心とした自然体験学習 1 (講座 No.18)
支援事業内容	<p>1 キャンプファイヤー指導法、グループワークレクリエーション 2 身近な自然を感じ取り、学習につなげる活動 3 野生生物について学ぶ～プロジェクトワイルド (体験型授業) 4 水について体験から学ぶ～プロジェクトウェット (体験型授業) 5 減災のための・エネルギー&ロープワーク講座 (体験型授業)</p> 
対象学年 (年齢)	小学校 1～2 年生：プロジェクトワイルド/ネイチャーゲーム 小学校 3 年生以上～中学校：上記含む提示したすべてのプログラム
時間数	基本は 2 時限分 (80～90 分) ～ 3 限分 (120 分) ※移動時間含まず遠隔地や校外学習などは別途相談
講師人数	児童・生徒 30 人に対して 2～3 人の講師
費用	講師謝礼 1 人につき 5,000 円 材料費等は別途 (内容により異なります)
必要な準備	プログラムの用具は一部準備しますが、まずは相談させてください。 材料 (消耗品) は学校 (または児童・生徒) で用意していただくこともあります。安全のため児童・生徒に事前に持ち物・服装を案内します (雨具・軍手など)
講師からの持込資材等	教本・教材など
講師連絡先	体験創庫かけはし TEL 0263 -92-1508 E-mail ts_kakehashi@yahoo.co.jp 担当 藤村
講師について	スタッフは自然体験活動指導者としての講習会を修了。(NEAL リーダー、文部科学省認定自然体験活動全体指導者) 他、CONE コーディネーター、トレーナー在籍。 ネイチャーゲーム、プロジェクトワイルド、プロジェクトウェットなど指導者として登録。 ※平成 27 年度までは、トゥマロウ・リーディング倶楽部 (TLC) として登録
開催実績	平成 27 年度 源池小学校 (TLC)
申込み (直接申込不可)	直接講師 (上記連絡先) にお申込みいただくことも可能です。 申込書により講師への連絡を希望された場合は、支援事業のコーディネーターを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。(実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います。)
問合せ	学校名、担当の先生の名前、内容等を書いて、中信地区環境教育ネットワーク事務局までメール (ecoeconet@gominetnagano.jp) でお問い合わせください。2～3 日中に電話またはメールでご連絡します。 (夕方 5 時以降)

【分類：自然体験、生活力】

講座名称	体感プログラムを中心とした自然体験学習 2 (講座 No. 1 9)
支援事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 火起こし教室～ハリギリ式、新聞を使わない方法、火の育て方等 2 燻製教室、保存食の知恵 (校内可) 3 カモフラージュ・同じモノ見つけ他ネイチャープログラム 4 木の実・木の葉当てクイズ 5 木育体験…森のかけらのお守り作り 6 その他松枯れ、湧水等地域探検、自然観察
対象学年 (年齢)	<p>小学校 1～2 年生：燻製教室、ネイチャーゲーム</p> <p>小学校 3 年生以上～：上記含む提示したすべてのプログラム</p>
時間数	<p>基本は 2 時限分 (80～90 分) ～ 3 限分 (120 分)</p> <p>※移動時間含まず遠隔地や校外学習などは別途相談</p>
講師人数	児童・生徒 30 人に対して 3～4 人の講師
費用	<p>講師謝礼 1 人につき 5,000 円</p> <p>材料費等は別途 (内容により異なります)</p>
必要な準備	<p>プログラムの用具は一部準備しますが、まずは相談させてください。</p> <p>材料 (消耗品) は学校 (または児童・生徒) で用意していただくこともあります。安全のため児童・生徒に事前に持ち物・服装を案内します (雨具・軍手など)</p>
講師からの持込資材等	火起こし用具のセット、燻製用具のセット、教本・教材など
講師連絡先	<p>信州やがいたいけん楽校ぶらす</p> <p>TEL 080-8041-7937 Fax 0263—87-2038</p> <p>E-mail furihata@yt-plus.com 担当 降幡</p>
講師について	<p>四賀地区中川の、廃校小学校 (旧中川小学校) 活用について、平成 25 年松本市が募集したプロポーザル事業へ応募を行い採択されました。平成 26 年 4 月より活動試行、①おもちゃの楽校①野外体験③チームビルディングを主とし、平成 27 年 4 月から運営を行っています。</p> <p>公民館、児童会の主催する自然体験学習プログラムの実施、小学校の総合学習支援参加、民間運営の日帰りキャンプ支援等に参加しています。また、県内の野外体験活動団体等のネットワーク、信州外あそびネットワーク事務局として活動しています。</p> <p>※平成 27 年度までは、トゥマロウ・リーディング倶楽部 (TLC) として登録</p>
開催実績	<p>平成 27 年度 源池小学校 (TLC)</p> <p>平成 28 年度 会田中学校 火おこし体験、ネイチャーゲーム</p>
申込み (直接申込不可)	<p>直接講師 (上記連絡先) にお申込みいただくことも可能です。</p> <p>申込書により講師への連絡を希望された場合は、支援事業のコーディネートをを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。(実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います。)</p>
問合せ	<p>学校名、担当の先生の名前、内容等を書いて、中信地区環境教育ネットワーク事務局までメール (ecoconet@gominetnagano.jp) でお問い合わせください。2～3 日中に電話またはメールでご連絡します。</p> <p>(夕方 5 時以降)</p>

【分類：環境知識・生活力】

講座名称	地球温暖化防止と木質バイオマスエネルギー利用方法（講座 No. 20）
支援事業内容	<p>○木質バイオマス活用の重要性についての説明と、活用方法の実演及び体験</p> <p>ロケットストーブやウッドガスストーブなどを使って、松ぼっくりや木の枝、竹などの木質バイオマスからエネルギーを取り出す体験をします。</p> 
対象学年（年齢）	小学5年生以上
時間数	2時間～3時間程度
講師人数	講座内容によります。別途相談
費用	講師謝礼 講師1名に5,000円（授業1回分毎） その他材料等については別途相談
必要な準備	火を使っても大丈夫な場所の確保
講師からの持込資材等	体験用の機材一式
講師連絡先	自然エネルギーネットまつもと TEL 0266・52-0160 E-mail amadeus@minuet.plala.or.jp 担当 平島 安人 http://www.enet-matsumoto.net
講師について	2012年2月設立の任意団体です。地域の多様な主体と連携・対話を図りながら、地域資源を活用した協働による自然エネルギーの普及及び自然エネルギーを活用した持続可能な地域づくりに資することを目的として活動しています。
開催実績	平成26年度 会田中学校 木質バイオマス活用 平成28年度 会田中学校 ぬかくどご飯炊き体験
申込み (直接申込可能)	申込書を学校指導課の担当（教育文化センター）に提出してください。申込書の提出を受けて、支援事業のコーディネートをを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。 (実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います。)
問合せ	学校名、担当の先生の名前、内容等を書いて、中信地区環境教育ネットワーク事務局までメール（ ecoeconet@gominetnagano.jp ）でお問い合わせください。2～3日中に電話またはメールでご連絡します。（夕方5時以降）

【分類：自然体験、環境知識】

講座名称	水辺の観察会 (講座 No. 21)
支援事業内容	<p>○水辺の生物観察の指導を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物採取の方法を指導し、採取した生物の名称やどんな生き物かを解説します。 ・水生生物の生息状況と、透視度やCODなどの化学的測定をあわせて行い、河川の汚染を解説します。  
対象学年（年齢）	小学校1年生～6年生（学年に合わせた授業を行います）
時間数	1～1.5時間
講師人数	子ども20人に講師1名
費用	講師謝礼 講師1名に5,000円（授業1回分毎）
必要な準備	水辺観察会の手引書（カラーコピーでも可）
講師からの持込資材等	バケツ、バット、手網、透視度計、他
講師連絡先	特定非営利活動法人 えんどっこ TEL 0263-92-6080 E-mail ootsuki@endotuko.com 担当 大月健二 http://endotuko.com/
講師について	水辺の自然環境の調査、環境学習、国際協力を実施する団体で主に梓川や松本地域で活動しています。
開催実績	梓川での水辺学習会 田んぼでの生きもの観察会
申込み（直接申込不可）	申込書を学校指導課の担当（教育文化センター）に提出してください。申込書の提出を受けて、支援事業のコーディネートを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。（実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います。）
問合せ	学校名、担当の先生の名前、内容等を書いて、中信地区環境教育ネットワーク事務局までメール（ ecoeconet@gominetnagano.jp ）でお問い合わせください。2～3日中に電話またはメールでご連絡します。（夕方5時以降）

【分類：自然体験、環境知識、生活力】

講座名称	リサイクル・リユースについてのワークショップ（講座 No.22）
支援事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童や家族が使わなくなったり、着られなくなったものをリメイクしたり再利用したりするワークショップ ・環境の3Rについて、児童向けの市環境書籍紹介なども交えて、リサイクルやリユースの実情について学ぶ。 ・団体に支援しているアジアのカンボジアやフィリピンの小学生や児童の様子について映像などで学び、自らの生活の中で「不要になったもの」を廃棄物でなく「資源」としてとらえることで、未来の環境負荷を軽減することの大切さについて気付いてもらう。不要になった文房具などを家庭や友人などに呼び掛けて、集め、実際に梱包して発送するまでを体験する。
対象学年（年齢）	小学校高学年～中学生
時間数	2時間×2回くらいが望ましい。（連続可）
講師人数	子ども30人に講師1～3名
費用	<p>講師謝礼 講師1名に5,000円（授業1回分毎） その他経費（材料費等、必要物品）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料作成の印刷代、講師の交通費実費など ・平面コラージュなどを行う場合には画用紙など。 ・グループワーク用には模造紙と付箋など
必要な準備	DVD視聴用の視聴覚設備、裁縫道具、鋏、糊など
講師からの持込資材等	視聴用映像ソフト、参考図書、写真、材料など
講師連絡先	<p>フリマネット信州 TEL 090-9664-5510 FAX 0263-55-4451 E-mail firmanet@yahoo.co.jp http://furimanet.com/ 担当 立石恵子</p>
講師について	平成14年発足。生活者自身がリユース、市民交流、福祉支援、まちの賑わいづくりを4つの趣意として、消費者のリユースフリーマーケット活動、リユースで回収した物品で海外の児童教育支援をする活動、福祉活動やボランティア活動、市民活動などの企画や工法の支援も行っています。
開催実績	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みに保護者と小学生が、リユースを体験するリサイクルフリーマーケット参加、日常生活で二酸化炭素を減らすやり方について学んだ。 ・市内の児童館を運営するNPO法人と協働で、各児童館の児童が、ペットボトルなどをリメイクして作った作品を持ち寄り、先生たちと「リユースバザー」を行って震災で被災した門脇小学校の支援イベントを寿台児童館にて実施した。
申込み（直接申込可能）	<p>直接講師（上記連絡先）にお申込みいただくことも可能です。 申込書により講師への連絡を希望された場合は、支援事業のコーディネートをを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。（実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います。）</p>
問合せ	上記連絡先にお問合せください。

【分類：自然体験、環境知識】

No. 1 8	講座名称	ビオトープ生物観察 (講座 No.2 3)
支援事業内容	<p>校内での生物多様性保全活動の必要性とその意義の講義を行い、続いて学内で(学内ビオトープ等で)生き物観察を行います。</p> <p>学外でのフィールドワークを行う場所は、松本市の生物多様性地域戦略モデル地区、「庄内ホテル水路」などを想定しています。</p> <p>生物多様性、生き物調査、環境指標、ホテルも棲める良い自然、自然を見る目をキーワードに、「何故、今、生物多様性保全が必要なのか」から、「生物多様性保全のために何ができるのか」まで考えます。</p>	
対象学年(年齢)	小学校高学年(生き物観察では、小学校低学年以上で可能)	
時間数	【講演のみ】45分、 【講演+実習】45分2コマ	
講師人数	【講演】 1人 【実習】 子ども10人に対し、1人の講師	
費用	講師謝礼 講師1名に5,000円 その他材料費等は別途相談	
必要な準備	個人を特定できる名札、バット、ピンセット、筆記用具、記録用ノート、図鑑、(サンプルを取る場合70%エチルアルコール)	
講師からの持込資材等	顕微鏡、実体顕微鏡、展翅板、展翅テープ、マッチバリ 記録用ノート、図鑑	
講師連絡先	松本ホテル学(まなぶ)会 TEL 事務所 050-7502-9328 担当 藤山静雄 E-mail sfujiya@shinshu-u.ac.jp	
講師について	「ホテルも棲める良い自然」をキャッチフレーズに、生物多様性の高い自然環境を保全し、残していくことの重要性を松本だけでなく、県内外でもアピールし活動しています。2016年3月には「国連生物多様性の10年日本委員会」より連携団体として認証を受けました。	
開催実績	小学生を対象に「生き物観察会」を市内公民館活動で5回ほど実施経験があります。	
申込み(直接申込不可)	申込書を学校指導課の担当(教育文化センター)に提出してください。申込書の提出を受けて、支援事業のコーディネートをを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。 (実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います。)	
問合せ	学校名、担当の先生の名前、内容等を書いて、中信地区環境教育ネットワーク事務局までメール(ecoeconet@gominetnagano.jp)でお問い合わせください。2~3日中に電話またはメールでご連絡します。(夕方5時以降)	

【分類：環境知識】

講座名称	まつもとの環境について学ぼう 「松本市環境基本計画関連講座」 (講座 No. 2 4)
支援事業内容	松本市民である私たちが取り組むべき5つの柱について、パワーポイント等を使って学習し、自分たちになにができるのか、一緒に考えます。 学習内容は、以下の1～5の中から組み合わせが可能です。(要相談) <5つの柱プログラム> 1. 地球にやさしく 地球温暖化を防ぐために一人ひとりが節電や省エネに取り組むことの重要性を学びます。 2. 資源を大切に “もったいない”をキーワードとした3Rの取組みやごみの現状、わたしたちにできることなどについて学びます。 3. 安心・安全な暮らし 松本市の騒音や水などの環境の状況や、私たちの行動がどのように環境に影響をあたえるのかを、実際の騒音計等を使って学びます。 4. 自然のめぐみ 生きものあふれる松本プラン「生物多様性」について、わかりやすく学びます。 5. 心地よいまち 身近にある心地よいかおりや音、花いっぱい運動を通じて、地域で自慢できる環境について学びます。
対象学年(年齢)	4年生以上
時間数	1時限
講師人数	講師1～2名
費用	無料
必要な準備	電源の確保
講師からの持込資材等	プロジェクター・スクリーン等
講師連絡先	松本市環境政策課 TEL 0263-34-3268 E-mail s-kankyo@city.matsumoto.nagano.jp
講師について	松本市環境政策課、環境保全課の職員が伺います。
申込み(直接申込可能)	直接講師(上記連絡先にお申込みください)
問合せ	上記連絡先にお問い合わせください。



環境学習の活動内容や支援する団体等が検索できるWEBサイト

中信地区環境教育ネットワークによる

信州の環境学習サポートサイト

どんな環境学習
プログラムがあるかな？
どんな活動を
していきたいかな？
ぜひ、ご活用ください！



信州の環境学習サポートの目的

- 環境学習の実践例を示し、環境学習の面白さや効果を伝えます。
- 中信地域の学校や地域で環境学習が実施できるよう支援団体や窓口を紹介します。
- 良質な環境学習の体験プログラムを紹介します。
- 環境学習が未来の希望となるよう、関係者が協力して環境体験学習の内容の向上と学習提供システムの整備に努めます。

作成/運営

中信地区環境教育ネットワーク

URL <http://www.econoschool.org/>

信州の環境学習

検索



【附録】松本市環境政策課からのお知らせ



1 全国ネットワーク「こどもエコクラブ」への参加について

○こどもエコクラブとは？

環境省事業として平成7年度に発足した「こどもエコクラブ」は、年会費・登録料無料の全国ネットワークです。幼児（3歳）から高校生までなら誰でも参加できる環境活動のクラブです。

○こどもエコクラブって何をするの？

子どもたちの興味や関心に基づいて、自然観察・調査やリサイクル活動、地球温暖化を防ぐ活動など、家庭・学校・地域の中で身近にできる「地球にやさしい活動」に自由に取組みます。

○こどもエコクラブのかたち

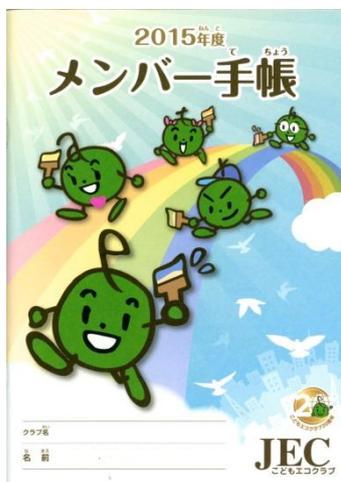
こどもエコクラブは、仲間が集まれば、どんな形態でも、こどもエコクラブとして活動をはじめることができます。登録は1名から、クラブ・学級単位での参加も可能です。

○登録すると・・・

【活動に役立つツールがもらえます】

希望に応じてメンバーズバッジやエコカード（幼児対象）がもらえます。ウェブサイトからメンバー手帳をダウンロードして使用することもできます。

また、わかりやすい環境情報や取り組みやすい環境活動・学習プログラム、他のクラブの活動の様子などを掲載したメールマガジンが無料で提供されるなどの特典があります。



【活動をサポート】

* 専門家からコメントが届きます。

ウェブサイトから活動報告をすると、専門家から、これからの活動に役立つコメントが届きます。

* 活動報告をするとアーススタンプがもらえます。

5つ以上アーススタンプを集めると「アースレンジャー認定証」が、もらえます。また、継続して活動を行うと銀バッジ、金バッジがもらえます。

○活動をはじめるには・・・

こどもエコクラブウェブサイトから直接登録ができます。または環境政策課担当までご連絡ください。

※ はじめようこどもエコクラブ

<http://www.j-ecoclub.jp/guide/index.html>

※ 平成28年度 登録クラブ数2,013、メンバー数113,920人

※ 現在は公益財団法人日本環境協会が事業を引き継ぎ、実施しています。



2 食品ロス削減国民運動「NO-FOODLOSS プロジェクト」 ロゴマーク「ろすのん」について



「ろすのん」ってなに？

- ・真ん中の●は、お皿をイメージ（食品ロス問題を訴える）
- ・下の二本線「＝」は、お箸をイメージ
- ・右目の涙は「もったいない」感情を表現

わが国では、本来食べられるのに廃棄されている「食品ロス」が年間約621万トン発生しています。「もったいない」という言葉の発祥地である国として、官民が連携して食品ロス削減国民運動「NO-FOODLOSS プロジェクト」を展開しています。

松本市も、このプロジェクトに協力し、食品ロスの削減を推進しています。

食品ロスの約半分は家庭から発生しています。

ぜひ、食品ロスの問題に関心を持ち、その削減にご協力ください。

平成 29 年度
松本市小中学校
環境教育支援事業
報告書

発行 松本市
〒390-8620
松本市丸の内 3 番 7 号
電話 0263-34-3268
E-mail kankyo_kyoiku@city.matsumoto.lg.jp

編集 松本市 環境部 環境政策課
松本市教育委員会 学校指導課
協力 中信地区環境教育ネットワーク

印刷 庁内印刷

